

分野	括弧	対象設備・作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	8月			9月				10月			11月			12月			1月			2月			3月以降	備考		
				15	22	29	5	12	19	26	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
●原子炉建屋滞留水を2020年末の半分程度に低減(2022~2024年度)	建屋内滞留水	【1~4号機 滞留水移送装置】 (実績) ・1~4号機滞留水移送装置運転 (予定) ・1~4号機滞留水移送装置運転	現場作業	1~4号機滞留水移送装置設置 運転																								(継続運転)	
		【α核種除去設備検討】	設計・検討																									(2022年2月設計完了予定)	
		【1~4号機 T/B床面スラッジ等の回収方法検討】	設計・検討																									(2023年度設計完了予定)	
		【滞留水処理 代替タンク設計】	設計・検討																									(2022年3月設計完了予定)	
		【プロセス主建屋・高温冷却建屋ゼオライト土壌の検討】	設計・検討																									(2023年度上期設計完了予定)	高温冷却建屋の地下掘削完了(2021/5/20~5/28) プロセス主建屋の地下掘削完了(2021/7/26~8/6) プロセス主建屋の地下掘削調査実施(2021/10~)
●汚染水発生量を100m3/日以下に抑制(2025年内)	浄化設備	【既設多核種除去設備】 【高性能多核種除去設備】 【増設多核種除去設備】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現場作業	処理運転(処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)																								(継続運転)	処理水及びタンクのインサービス状況に応じて適宜運転または処理停止 既設多核種除去設備 除去性能確認に係る実施計画変更申請(2021/7/2) 増設多核種除去設備 前処理設備改造に係る実施計画変更申請(2021/7/27)
		【サブドレン浄化設備】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現場作業	処理運転																								(継続運転)	サブドレン汲み上げ、運用開始(2015.9.3~) 排水開始(2015.9.14~) 前処理フィルタ1B、2B取替完了(2021.5/27)
		【5/6号機サブドレンの復旧】 (実績) サブドレン設備復旧工事着手(2020/9/7~) ・設備設置:約1900m ² 約1900m ² ・中継タンク設置:2/2基 ・ポンプ・水位計設置:0/13箇所 ・試験(各設備設置後):一式(未実施)	現場作業																									(2022年3月運転開始予定)	2021年2月18日 5・6号機サブドレン集水設備復旧の実施計画変更認可(原規発第2102184号)
		【地下水バイパス設備】 (実績) (予定) ・運転 ・運転	現場作業	運転																								(継続運転)	
		【セシウム吸着装置】 【第二セシウム吸着装置】 【第三セシウム吸着装置】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現場作業	処理運転																								(継続運転)	2021年1月29日 吸着塔の第二セシウム吸着装置及び第三セシウム吸着装置での再利用の実施計画変更認可(原規発第2101291号) 使用前検査予定月:2021年10月(第三セシウム吸着装置、2・3号) 2021年11月(第二セシウム吸着装置、2・3号)
		【凍土壁内フェーシング(全6万m ²)】 (予定)4号機タービン建屋東側	現場作業	維持管理運転(北側、南側の一部 2017/5/22~、海側の一部 2017/11/13~、海側全域・山側の一部 2018/3/14~、山側全域2019/2/21完了)																								(継続運転)	
フェーシング(陸側凍土壁内エリア)	3号機R/B燃料取出用カバー 雨水対策(HPCI室水位上昇対応)	【凍土壁内フェーシング(全6万m ²)】 (予定)4号機タービン建屋東側	現場作業	4号機タービン建屋東側																								(2022年2月工事完了予定)	4号機タービン建屋東側:2021年4月7日開始
		【凍土壁内フェーシング(全6万m ²)】 (予定)4号機タービン建屋東側	現場作業	雨水排水先変更(サブドレンNo.34付近の地表面に排水)																									

分野	括弧	対象設備・作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	8月							9月							10月							11月							12月							1月							2月							3月以降	備考
				15	22	29	5	12	19	26	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																	
●タンク関連		H4エリアNo. 5タンクからの漏えい対策	(実績・予定) ・汚染の拡散状況把握	現 場 作 業	モニタリング																																	(継続実施)																
		タンク解体	(実績・予定) ・Eエリアフランジタンク解体工事 : 49基解体予定	現 場 作 業	Eエリアフランジタンク解体工事																																	(2022年4月 工事完了予定)*	2018年9月10日 Eエリアにおける中低濃度タンクの撤去等について (実施計画変更認可)															
		タンク設置	(実績・予定) ・G4北エリア溶接タンク設置工事 : 6基設置予定 ・G5エリア溶接タンク設置工事 : 17基設置予定	現 場 作 業	G4北エリア溶接タンク設置工事 G5エリア溶接タンク設置工事																																	(2022年8月* 工事完了予定) (2022年8月 工事完了予定)	※: 残水回収中の2基を除く 実施計画変更申請中 2021年8月2日 福島第一原子力発電所 特定原子力施設に係る実施計画 変更認可申請書 (廃炉担当R3第08号) ※: 工程前倒しを検討中															
●溜まり水対策		溜まり水対策	【構内溜まり水の除去】	現 場 作 業	(継続実施)																																	(継続実施)	※: 1回、溜まり水の点検を実施															
●自然災害対策		津波対策	○日本海津波対策 ・日本海津波対策防浪堤設置 (実績・予定) 試験施工 本体構築工事	現 場 作 業	現場調査・測量・試験施工 本体構築工事																																	(2024年3月 工事完了予定)	1-4号機側: 2024年3月完了予定 現場着手: 2021/06/21開始 テールアルム工事: 2021年9月14日作業開始															
		津波対策	○3.11津波対策 ・建屋開口部閉止 (実績) 閉止箇所数 123箇所/127箇所 (9月28日時点) (予定) 外部開口閉塞作業 継続実施	現 場 作 業	【区分5】1~4Rw/B, 4R/B, 4T/B等																																	(2022年3月 工事完了予定)	【区分1②】1~3T/B等2019年3月、全67箇所完了 【区分3】2, 3R/B外部のハッチ等 (2019年3月~2020年3月、全20箇所完了) 【区分4】1~3R/B等 (2019年9月~2020年11月、全16箇所完了) 【区分5】1~4Rw/B, 4R/B, 4T/B (2020年3月~2022年3月、20箇所/24箇所完了)															
		津波対策	○3.11津波対策 ・メガフロート移設【9/22時点】 (実績) 番倉マウンド造成100%、ハラスト水処 理100%。 内部除染作業100% メガフロート移設・仮置場: 100% 内部充填作業: 100% 護岸ブロック製造: 100% 送付: 100% 搬入工: 100% ブロック基礎被覆: 100% 上部盛土工: 100% 上部コンクリート工: 55% (予定) 埋立エリア盛土工 埋立ヤード整備	現 場 作 業	埋立工事																																	(2022年2月 工事完了予定)	番倉マウンド造成: 2019年5月20日開始、2020年2月7日完了 ハラスト水処理: 2019年5月28日開始、2020年2月20日完了 内部除染: 2019年7月16日開始、2020年2月26日完了 メガフロート移設・仮置場: 2020年3月4日完了 内部充填: 2020年4月3日開始、8月3日完了 護岸ブロック搬付: 2020年10月2日開始、2021年2月4日完了 搬入工: 2021年1月16日開始、2021年3月24日完了 ブロック基礎被覆: 2021年3月25日開始、2021年6月8日完了 上部盛土工: 2021年4月19日開始、2021年8月3日完了 上部コンクリート工: 2021年6月16日開始、2021年10月29日完了目標 ※2月13日の地震による影響を福島県と協議し、追加申請を実施予定。 埋立工事(専任埋立機ヤード整備): 2021年2月25日開始															
	豪雨対策	○豪雨対策 ・D排水路新設 (実績) (9月20日時点) 準備工事 完了 立坑構築工(専任埋立機側) 75% 立坑構築工(上流側埋立機側) 80% 立坑構築工(下流側埋立機側) 20% 立坑構築工(小口径埋立機側) 40% トンネル工(下流側埋立機側) 40%	現 場 作 業	立坑構築工事(専任埋立機側、下流側埋立機側、上流側埋立機側、小口径埋立機側) トンネル工事(下流側~2022.1)																																	(2022年8月 工事完了予定) (2022年8月 工事完了予定)	専任埋立機側: 2021/03/06施工開始 下流側埋立機側: 2021/03/22準備開始、7月16日施工開始 上流側埋立機側: 2021/04/05施工開始 トンネル工事: 2021/07/29開始、2021/09/06掘進作業開始、2021/09/16初期掘進開始 、2021/9/28本掘進開始																

多核種除去設備

	17(金)	18(土)	19(日)	20(月)	21(火)	22(水)	23(木)	24(金)	25(土)	26(日)	27(月)	28(火)	29(水)	30(木)	1(金)	2(土)	3(日)	4(月)	5(火)	6(水)	7(木)	8(金)	9(土)	10(日)	11(月)	12(火)	13(水)	14(木)
A	計画停止														点検停止													
B															点検停止													
C															計画停止													

増設多核種除去設備

	17(金)	18(土)	19(日)	20(月)	21(火)	22(水)	23(木)	24(金)	25(土)	26(日)	27(月)	28(火)	29(水)	30(木)	1(金)	2(土)	3(日)	4(月)	5(火)	6(水)	7(木)	8(金)	9(土)	10(日)	11(月)	12(火)	13(水)	14(木)
A	計画停止														←													
B	←	点検停止				←														点検停止								
C															点検停止													

セシウム吸着装置(KURION)、第二セシウム吸着装置(SARRY)、第三セシウム吸着装置(SARRY2)

	17(金)	18(土)	19(日)	20(月)	21(火)	22(水)	23(木)	24(金)	25(土)	26(日)	27(月)	28(火)	29(水)	30(木)	1(金)	2(土)	3(日)	4(月)	5(火)	6(水)	7(木)	8(金)	9(土)	10(日)	11(月)	12(火)	13(水)	14(木)
SARRY	←						計画停止														←							
SARRY2	計画停止						←														計画停止							
KURION															計画停止(滞留水の状況に応じて運転を計画、実施)													

※ 現場状況を踏まえて運転するため、計画を変更する場合があります。

福島第一原子力発電所の滞留水の水位について
(2021年9月17日～2021年9月30日)

2021年10月1日
東京電力ホールディングス株式会社

	原子炉建屋水位				タービン建屋水位				廃棄物処理建屋水位				集中廃棄物処理施設水位			
	1号機	2号機	3号機		4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	プロセス 主建屋	高温焼却炉 建屋	サイトバンカ 建屋
			HPCI室	トーラス室												
9月17日	-2040	-2109	-2057	-2001	-	-	-	-	-	-	-	-	-	272	-17	2707
9月18日	-2040	-2098	-2057	-2048	-	-	-	-	-	-	-	-	-	262	-17	2708
9月19日	-2043	-2077	-2050	-2041	-	-	-	-	-	-	-	-	-	214	-17	2708
9月20日	-2051	-2103	-2052	-2048	-	-	-	-	-	-	-	-	-	177	-17	2707
9月21日	-2056	-2114	-2054	-2047	-	-	-	-	-	-	-	-	-	123	-17	2707
9月22日	-2033	-2110	-2054	-2017	-	-	-	-	-	-	-	-	-	169	-10	2707
9月23日	-2035	-2105	-2056	-2048	-	-	-	-	-	-	-	-	-	177	-10	2708
9月24日	-2036	-2102	-2056	-2006	-	-	-	-	-	-	-	-	-	162	-10	2708
9月25日	-2040	-2114	-2056	-2048	-	-	-	-	-	-	-	-	-	148	-9	2708
9月26日	-2041	-2121	-2054	-2047	-	-	-	-	-	-	-	-	-	124	-8	2707
9月27日	-2044	-2102	-2054	-2013	-	-	-	-	-	-	-	-	-	98	-8	2707
9月28日	-2046	-2117	-2056	-2048	-	-	-	-	-	-	-	-	-	93	-8	2707
9月29日	-2049	-2095	-2056	-2043	-	-	-	-	-	-	-	-	-	73	-9	2707
9月30日	-2055	-2114	-2057	-2050	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66	0	2707
最下階床面高さ	-2666	-4796	-4796	-4796	443	-1752	-1737	-1739	-36	-1736	-1736	-1736	-2736	-2236	-	-

備考欄

- ※ T.P.表記(単位:mm)
- ※ 5時時点の水位
- ※ 1号機タービン建屋の滞留水処理完了(2017年3月)
- ※ 1号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2019年3月)
- ※ 3号機原子炉建屋水位は、南東三角コーナー水位が停滞している事から水位変動を監視するため一時的に記載(2019年7月5日～)
- ※ 4号機原子炉建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 2号機タービン建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 3号機タービン建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 4号機タービン建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 2号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 3号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 4号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ サイトバンカ建屋は過去に滞留水を誤って移送したことがあり、排水したものの現状も低レベルの汚染が残っていることから、水位を監視している。
なお、当該建屋内の水は1～4号機建屋及び集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋、高温焼却炉建屋)内の建屋滞留水と切り離されており、放射能濃度も低いことから、建屋滞留水ではない。

2. タンク群毎の放射能濃度実測値(再利用タンクを除く) (2021年6月30日現在)

2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

Bエリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 [※]) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 [※] +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全ベータ(β) [Bq/L]	全アルファ(α) [Bq/L]		
A1	1.26E+00	<4.28E-01	6.86E-01	2.71E+00	<2.99E+00	9.23E+03	5.21E+01	1.25E+06	1.55E+01	5.77E+00	2.03E+04	<7.77E-02	313.51	313.52
A5	4.82E-01	<2.97E-01	6.56E-01	1.99E+00	<1.53E+00	2.49E+03	5.39E+01	1.27E+06	1.45E+01	5.92E+00	5.91E+03	<6.00E-02	89.16	89.17
B1	<1.25E-01	<1.37E-01	4.26E-01	<4.48E-01	<1.20E+00	1.15E+00	<2.32E-01	6.42E+05	2.36E+01	<1.68E+00	1.09E+01	<5.69E-02	0.08	0.10
B5	<1.16E-01	<1.56E-01	3.65E-01	<3.14E-01	<1.11E+00	4.06E+00	<2.32E-01	6.72E+05	3.18E+01	<1.68E+00	1.79E+01	<5.69E-02	0.18	0.20
C1	1.61E+00	<3.35E-01	5.17E-01	1.88E+00	<1.49E+00	1.74E+03	4.49E+01	1.02E+06	1.02E+01	4.57E+00	3.85E+03	<9.32E-02	63.10	63.11
D1	3.03E-01	<1.56E-01	<1.78E-01	<4.98E-01	<1.28E+00	1.19E+00	6.57E-01	4.89E+05	3.83E+00	<1.28E+00	8.01E+00	<9.32E-02	0.13	0.14
D2	1.08E+00	<4.66E-01	5.91E-01	2.36E+00	<3.06E+00	6.10E+03	4.23E+01	1.12E+06	9.48E+00	4.89E+00	1.42E+04	<8.35E-02	208.13	208.13
D3	9.19E-01	<3.78E-01	4.94E-01	2.48E+00	<2.70E+00	5.92E+03	4.80E+01	1.06E+06	1.13E+01	5.13E+00	1.37E+04	<8.35E-02	202.78	202.79
D4	1.50E+00	<1.55E+00	<1.18E+00	4.88E+00	<1.21E+01	9.26E+03	4.79E+01	1.13E+06	1.29E+01	4.97E+00	2.02E+04	<8.35E-02	314.06	314.07
D5	2.78E+00	<1.96E+00	<1.34E+00	<6.16E+00	<1.75E+01	1.12E+04	4.68E+01	1.21E+06	1.63E+01	5.22E+00	2.44E+04	<7.77E-02	378.79	378.80
D6	2.16E+00	<4.98E-01	4.27E-01	2.77E+00	<3.59E+00	1.71E+04	4.65E+01	1.32E+06	1.45E+01	5.47E+00	4.04E+04	<7.77E-02	573.57	573.59
D7	2.98E+00	<6.97E-01	4.26E-01	4.78E+00	<4.63E+00	2.26E+04	4.49E+01	1.47E+06	1.44E+01	5.92E+00	5.28E+04	<7.77E-02	757.76	757.77
D8	1.93E+00	<6.05E-01	3.79E-01	1.77E+00	<4.19E+00	1.42E+04	3.49E+01	1.17E+06	1.16E+01	4.28E+00	3.02E+04	<7.97E-02	478.63	478.64
D9	2.13E+00	<4.81E-01	6.52E-01	3.00E+00	<3.36E+00	1.42E+04	4.62E+01	1.27E+06	1.35E+01	5.12E+00	3.27E+04	<7.97E-02	479.54	479.55
E1	3.92E-01	<2.09E-01	4.81E-01	2.19E+00	<1.40E+00	4.57E+02	4.64E+01	1.02E+06	9.95E+00	4.46E+00	1.04E+03	<9.03E-02	20.41	20.42
E6	9.66E-01	<2.32E-01	4.57E-01	2.42E+00	<2.33E+00	7.36E+03	4.11E+01	1.18E+06	1.25E+01	4.78E+00	1.56E+04	<9.03E-02	250.01	250.02

B南エリア

A1	<2.35E-01	<2.05E-01	<1.86E-01	<7.20E-01	1.82E+00	3.82E+00	9.11E-01	4.80E+05	5.40E+00	<1.28E+00	8.70E+00	<9.03E-02	0.25	0.26
A5	3.86E-01	<1.82E-01	7.75E-01	<4.00E-01	<1.27E+00	3.55E+00	2.63E+00	3.24E+05	1.28E+01	<1.28E+00	7.33E+00	<9.03E-02	0.43	0.44

※ 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について
 (例) $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

G1エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1}) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1}) +C-14 +Tc-99 [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全ベータ(β) [Bq/L]	全アルファ(α) [Bq/L]		
B1	<1.16E-01	<1.49E-01	2.45E-01	<4.18E-01	<1.15E+00	<4.68E-01	2.01E-01	4.98E+05	1.28E+01	<7.97E-01	<5.59E+00	<5.65E-02	0.05	0.06
B14	<1.30E-01	<1.67E-01	3.86E-01	<4.34E-01	<1.10E+00	<4.00E-01	<4.35E-01	5.65E+05	2.13E+01	<7.17E-01	6.06E+00	<5.10E-02	0.08	0.09
C1	<2.43E-01	<2.28E-01	3.15E-01	<7.67E-01	<2.15E+00	<4.73E-01	<7.74E-02	3.92E+05	1.22E+01	<2.41E-01	<7.22E+00	<7.57E-02	0.05	0.06
C5	<2.54E-01	<2.03E-01	8.19E-01	<5.26E-01	<1.58E+00	<3.60E-01	1.36E-01	6.64E+05	1.93E+01	<2.41E-01	<6.77E+00	<7.57E-02	0.05	0.06
C9	<1.41E-01	<1.51E-01	4.43E-01	<4.40E-01	<9.79E-01	<4.67E-01	<4.35E-01	5.66E+05	1.86E+01	<7.17E-01	9.65E+00	<6.29E-02	0.08	0.09

G1南エリア

A1	<5.95E-02	<1.33E-01	6.57E-01	3.90E-01	2.62E+00	<2.45E-01	2.97E+00	4.26E+05	—	—	9.76E+00	—	0.37	—
A5	1.38E-01	<7.02E-02	1.62E+00	6.49E-01	<7.97E-01	2.54E-01	1.12E+01	6.25E+05	—	—	3.38E+01	—	1.28	—
A5 ^{※2}	3.42E-01	<1.89E-01	1.28E+00	<4.78E-01	<1.38E+00	<5.03E-01	7.64E+00	5.75E+05	8.05E+01	<1.20E+00	2.63E+01	—	0.89	0.94
B1	5.41E-01	1.69E-01	7.33E-01	6.70E-01	1.53E+00	9.54E+00	4.62E+00	7.93E+05	—	—	6.31E+01	—	0.86	—
B1 ^{※2}	4.40E-01	<1.74E-01	6.34E-01	5.06E-01	<1.29E+00	2.38E+00	3.04E+00	6.33E+05	9.60E+01	5.61E+00	3.51E+01	<6.28E-02	0.44	0.50
B7	2.13E-01	<1.33E-01	8.06E-01	5.99E-01	1.50E+00	6.18E-01	3.76E+00	7.62E+05	—	—	2.99E+01	—	0.46	—
C1	6.35E-02	<8.11E-02	6.85E-01	4.48E-01	<7.81E-01	2.22E+01	1.32E+01	1.60E+06	—	—	1.22E+02	—	2.22	—
C6	<6.48E-02	<1.03E-01	7.39E-01	4.13E-01	1.05E+00	9.01E-02	5.41E+00	3.21E+05	—	—	1.09E+01	—	0.62	—
B5	2.64E+00	<4.16E-01	6.18E-01	3.79E+00	<2.99E+00	1.85E+04	4.30E+01	2.20E+06	2.27E+01	6.63E+00	3.77E+04	<9.32E-02	621.19	621.20

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 全βの濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について

(例) $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

G3エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1}) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1} +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全ベータ(β) [Bq/L]	全アルファ(α) [Bq/L]		
A1	<7.23E-02	<1.05E-01	5.86E-01	2.50E+00	<1.01E+00	<2.85E-01	4.11E+01	8.45E+05	—	—	1.38E+01	—	4.59	—
B1	<5.85E-02	<6.46E-02	9.70E-02	1.07E+00	<7.66E-01	7.59E-02	2.36E+01	6.55E+05	—	—	1.50E+01	—	2.63	—
C1	4.21E-01	<7.13E-02	2.83E-01	1.72E+00	1.92E+00	1.10E+01	3.78E+01	1.41E+06	—	—	6.10E+01	—	4.59	—
D1	9.26E+00	<1.68E+00	1.24E+01	1.67E+01	<1.06E+01	2.28E+03	1.85E+00	2.80E+05	9.55E+00	<5.24E-01	5.62E+03	—	76.43	76.43

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について
 (例) $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

G4南エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1}) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1} +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全 ^α -β(B) [Bq/L]	全アルファ(α) [Bq/L]		
A1	<1.53E-01	<1.33E-01	6.26E-01	<4.87E-01	<1.33E+00	<3.59E-01	<5.64E-02	3.96E+05	9.48E+00	<4.07E-01	9.30E+00	<6.00E-02	0.04	0.04
A2	<1.30E-01	<1.74E-01	2.69E-01	<4.30E-01	<1.16E+00	5.79E-01	<5.64E-02	4.01E+05	1.19E+01	<4.07E-01	6.51E+00	<6.00E-02	0.04	0.05
A3	<1.24E-01	<1.89E-01	1.63E-01	<3.81E-01	<1.18E+00	5.12E-01	<5.64E-02	4.02E+05	9.57E+00	<4.07E-01	<6.61E+00	<6.00E-02	0.04	0.05
A4	<1.10E-01	<1.30E-01	<1.69E-01	<4.13E-01	<1.02E+00	1.19E+00	<5.64E-02	3.94E+05	9.61E+00	<4.07E-01	1.23E+01	<6.00E-02	0.06	0.07
A5	<1.45E-01	<1.45E-01	2.22E-01	<4.50E-01	<1.29E+00	1.42E+00	<5.64E-02	4.00E+05	9.76E+00	<4.07E-01	9.76E+00	<5.69E-02	0.07	0.08
A6	<1.34E-01	<1.33E-01	1.87E-01	<4.50E-01	<1.18E+00	1.52E+00	<5.64E-02	4.05E+05	1.04E+01	<4.07E-01	1.30E+01	<5.69E-02	0.07	0.08
A7	<1.14E-01	<1.87E-01	<1.67E-01	<4.09E-01	<1.15E+00	2.34E+00	1.69E-01	4.08E+05	1.21E+01	<4.07E-01	<6.37E+00	<6.28E-02	0.11	0.12
A8	<1.45E-01	<1.42E-01	2.03E-01	<4.53E-01	<1.45E+00	2.68E+00	1.13E-01	4.17E+05	8.96E+00	<4.07E-01	6.85E+00	<6.28E-02	0.12	0.13
B1	<1.28E-01	<2.20E-01	1.79E-01	<4.00E-01	<1.22E+00	<5.15E-01	<1.06E-01	3.71E+05	7.94E+00	<3.44E-01	<7.99E+00	<6.28E-02	0.05	0.05
B2	<1.48E-01	<3.97E-01	2.93E-01	<4.52E-01	<1.29E+00	<5.83E-01	<7.38E-02	3.70E+05	9.81E+00	<3.44E-01	<7.99E+00	<6.28E-02	0.05	0.06
B3	1.35E-01	<2.05E-01	4.05E-01	<3.99E-01	<1.21E+00	5.39E-01	<7.38E-02	3.88E+05	7.65E+00	<3.44E-01	1.00E+01	<6.00E-02	0.05	0.05
B4	1.92E-01	<1.65E-01	3.92E-01	<4.58E-01	<1.19E+00	<4.95E-01	<7.38E-02	4.21E+05	1.08E+01	<3.44E-01	6.74E+00	<6.00E-02	0.04	0.05
B5	4.11E-01	<1.39E-01	4.16E-01	<4.72E-01	<1.16E+00	6.15E-01	<7.38E-02	4.65E+05	1.09E+01	<3.47E-01	<6.38E+00	<5.64E-02	0.05	0.06
B6	4.82E-01	<1.28E-01	5.18E-01	<4.42E-01	<1.12E+00	7.14E-01	3.05E-01	5.10E+05	1.21E+01	<3.47E-01	6.51E+00	<5.64E-02	0.08	0.09
B7	7.30E-01	<1.77E-01	5.95E-01	<4.73E-01	<1.21E+00	<6.53E-01	1.74E-01	5.35E+05	1.18E+01	<3.47E-01	7.79E+00	<5.24E-02	0.07	0.07
B8	6.08E-01	<1.38E-01	4.98E-01	<4.62E-01	<1.19E+00	1.41E+00	1.87E-01	5.39E+05	1.94E+01	<3.47E-01	1.02E+01	<5.24E-02	0.09	0.10
B9	8.16E-01	<1.60E-01	3.85E-01	<4.75E-01	<1.30E+00	1.54E+00	2.17E-01	5.16E+05	2.10E+01	<3.47E-01	1.16E+01	<4.97E-02	0.10	0.11
B10	9.77E-01	<1.53E-01	5.20E-01	<4.38E-01	<1.25E+00	2.45E+00	2.23E-01	5.03E+05	1.80E+01	<3.47E-01	1.16E+01	<4.97E-02	0.14	0.14

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について
 (例) 4.16E+01 = 4.16×10¹ = 41.6
 4.16E-01 = 4.16×10⁻¹ = 0.416

2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

G6エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1}) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1} +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全ベータ(β) [Bq/L]	全アルファ(α) [Bq/L]		
A1	4.42E-01	<3.17E-01	9.20E-01	<6.63E-01	<1.93E+00	1.47E+00	<3.51E-01	8.88E+05	3.77E+01	<1.38E+00	8.47E+00	<9.03E-02	0.12	0.14
A9 ^{※2}	7.35E-01	<3.45E-01	7.06E-01	1.06E+00	<2.11E+00	8.91E+00	3.15E-01	1.14E+06	1.27E+02	<4.64E-01	4.93E+01	<8.87E-02	0.37	0.44
B1	<2.29E-01	<1.58E-01	9.39E-01	<4.66E-01	<1.30E+00	<4.45E-01	1.77E+00	1.19E+06	5.12E+01	<1.28E+00	2.20E+01	<9.32E-02	0.24	0.26
B6	2.17E-01	<2.76E-01	1.67E+00	<4.37E-01	<1.23E+00	5.49E-01	1.89E+00	1.11E+06	1.19E+02	<1.28E+00	3.11E+01	<9.32E-02	0.26	0.32
C1	<2.26E-01	<2.01E-01	3.59E-01	<7.01E-01	<1.79E+00	1.06E+00	<3.51E-01	7.48E+05	2.62E+01	<1.38E+00	1.08E+01	<9.03E-02	0.10	0.12
C10	<2.56E-01	<1.84E-01	3.56E-01	<7.21E-01	<1.71E+00	1.90E+00	2.64E+00	7.28E+05	2.55E+01	<1.38E+00	1.26E+01	<9.03E-02	0.38	0.40
D1	<1.27E-01	<1.42E-01	4.74E-01	<4.32E-01	<1.35E+00	2.24E+00	<2.32E-01	6.37E+05	2.39E+01	<1.68E+00	9.65E+00	<6.00E-02	0.12	0.13
D6	<1.48E-01	<2.22E-01	4.31E-01	7.42E-01	<1.34E+00	1.21E+00	1.34E+00	9.35E+05	4.79E+01	<1.68E+00	2.19E+01	<6.00E-02	0.21	0.24

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 再分析の結果を反映

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について

(例) $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

G7エリア

グループ	核種毎の放射能濃度									告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1}) [-]
	セシウム(Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム(Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト(Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン(Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム(Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム(Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素(I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム(H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	全 α - β [Bq/L]	
B1	4.87E-01	<2.86E-01	5.40E-01	1.04E+02	<8.86E-01	2.24E+00	2.17E+01	5.24E+05	1.37E+02	2.63

H1エリア

A1	4.62E+00	5.03E-01	9.35E-01	1.78E+01	2.19E+00	1.68E+00	3.75E+01	9.06E+05	7.56E+01	4.33
C2	1.91E+00	1.85E-01	1.12E+00	5.29E+00	3.07E+00	1.86E+00	9.02E+00	2.50E+06	3.80E+01	1.13
E1 ^{※2}	<6.98E-02	<8.60E-02	2.25E+00	1.41E+00	2.13E+00	1.41E+01	1.99E+01	4.70E+05	5.05E+01	2.71
G5 ^{※2}	1.05E-01	<1.02E-01	1.21E+00	8.26E-01	8.49E-01	8.55E+00	6.89E+00	5.28E+05	3.14E+01	1.07

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 放射能濃度測定後に追加でALPS処理水を受入れ。掲載のデータは、追加受入れ前の測定値。

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について

(例) $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

H1東エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1}) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1} +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全ベータ(β) [Bq/L]	全アルファ(α) [Bq/L]		
A1	1.05E+00	<1.55E-01	5.52E-01	<4.39E-01	<1.28E+00	8.25E-01	6.13E+00	2.21E+05	—	—	1.14E+01	—	0.74	—
A1 ^{※2}	4.96E-01	<2.07E-01	9.12E-01	<4.47E-01	<1.15E+00	4.42E+00	3.84E+00	1.94E+05	1.42E+01	<1.02E+00	1.32E+01	<5.36E-02	0.60	0.61
A4	7.16E-01	<1.83E-01	7.10E-01	<4.80E-01	<1.23E+00	6.87E-01	5.65E+00	2.64E+05	—	—	1.89E+01	—	0.68	—
A7	7.32E-01	<2.66E-01	6.05E-01	<4.13E-01	1.96E+00	7.83E-01	5.19E+00	2.71E+05	—	—	1.91E+01	—	0.64	—
B1	5.35E-01	<2.68E-01	4.12E-01	<4.18E-01	<1.29E+00	4.12E-01	4.71E+00	2.33E+05	—	—	1.02E+01	—	0.56	—
B3	6.58E-01	<3.02E-01	7.89E-01	<4.36E-01	<1.46E+00	7.15E-01	5.34E+00	2.52E+05	—	—	1.56E+01	—	0.65	—
B5	8.22E-01	<1.46E-01	6.84E-01	<5.49E-01	<1.23E+00	9.06E-01	5.72E+00	2.64E+05	—	—	1.84E+01	—	0.69	—
B7	6.02E-01	<2.18E-01	7.54E-01	<4.40E-01	<1.19E+00	9.67E-01	5.59E+00	2.68E+05	—	—	1.45E+01	—	0.68	—
C1	6.82E-01	<1.61E-01	4.39E-01	<4.67E-01	<1.27E+00	3.05E-01	7.01E+00	1.90E+05	—	—	8.20E+00	—	0.82	—
C3	7.33E-01	<1.48E-01	8.03E-01	<4.72E-01	<1.34E+00	5.56E-01	5.24E+00	2.40E+05	—	—	1.86E+01	—	0.63	—
C6	6.87E-01	<2.18E-01	1.03E+00	5.34E-01	<1.24E+00	1.56E-01	3.99E+00	2.62E+05	—	—	1.73E+01	—	0.48	—
C8	5.83E-01	<1.19E-01	9.61E-01	<4.18E-01	<1.20E+00	1.44E-01	3.98E+00	2.56E+05	—	—	1.74E+01	—	0.47	—
C8 ^{※2}	4.67E-01	<2.15E-01	8.59E-01	<6.45E-01	<1.95E+00	<5.11E-01	2.80E+00	2.40E+05	1.51E+01	1.49E+01	2.15E+01	—	0.36	0.38

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 全βの濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について
 (例) $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

H2エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1}) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1} +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全 α -タ(β) [Bq/L]	全 α 77ア(α) [Bq/L]		
A1	1.03E-01	<1.82E-01	3.78E-01	6.75E-01	<9.73E-01	4.64E-01	8.33E+00	1.07E+06	—	—	2.46E+01	—	0.96	—
A1 ^{※2}	<2.46E-01	<4.27E-01	2.30E-01	<6.57E-01	<1.69E+00	6.17E+00	5.23E+00	9.40E+05	1.08E+02	<9.58E-01	4.21E+01	—	0.82	0.87
A5	1.90E-01	<1.78E-01	5.72E-01	5.83E-01	<1.00E+00	<7.19E-02	3.72E+00	2.76E+05	—	—	6.59E+00	—	0.43	—
B1	3.11E-01	<2.22E-01	1.62E+00	1.05E+00	7.70E+00	3.25E-01	9.09E+00	3.42E+05	—	—	2.11E+01	—	1.11	—
B1 ^{※2}	2.91E-01	<2.95E-01	1.17E+00	<4.57E-01	1.85E+00	3.32E+00	5.85E+00	2.95E+05	2.22E+01	1.26E+01	2.62E+01	<5.36E-02	0.79	0.82
B4	3.74E-01	<1.20E-01	5.53E-01	6.32E-01	<9.44E-01	1.14E-01	1.39E+00	1.96E+05	—	—	6.12E+00	—	0.18	—
C1	1.06E+00	<1.58E-01	5.87E-01	7.23E-01	<9.29E-01	<5.93E-02	6.90E+00	6.41E+05	—	—	1.54E+01	—	0.80	—
C1 ^{※2}	8.72E-01	<2.17E-01	2.68E-01	<4.39E-01	<1.31E+00	2.47E+00	6.25E+00	5.57E+05	5.93E+01	<1.23E+00	1.96E+01	<5.36E-02	0.81	0.84
C2	1.04E+00	2.34E-01	5.46E-01	5.40E-01	<7.57E-01	<2.28E-01	5.22E+00	4.62E+05	—	—	1.56E+01	—	0.61	—
C4	4.94E-01	<2.05E-01	6.32E-01	7.17E-01	<9.37E-01	<5.60E-02	5.46E+00	3.65E+05	—	—	1.00E+01	—	0.63	—
D1	3.56E-01	<1.48E-01	6.40E-01	6.82E-01	7.72E+00	<8.42E-02	2.82E+00	5.04E+05	—	—	1.23E+01	—	0.40	—
D1 ^{※2}	4.46E-01	<2.64E-01	4.17E-01	<4.19E-01	<1.22E+00	2.84E+00	2.69E+00	4.41E+05	1.40E+01	<1.23E+00	1.04E+01	<6.54E-02	0.42	0.43
D3	3.14E-01	<1.26E-01	8.76E-01	6.02E-01	6.50E+00	2.25E-01	4.51E+00	4.54E+05	—	—	1.61E+01	—	0.58	—

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 全βの濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について
 (例) $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

H2エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1}) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1} +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限 度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全 α -タ(β) [Bq/L]	全 α 7ア(a) [Bq/L]		
E1	3.71E-01	<1.78E-01	5.41E-01	8.12E-01	1.84E+00	1.75E-01	4.67E+00	5.46E+05	—	—	1.62E+01	—	0.55	—
E1 ^{※2}	3.37E-01	<1.94E-01	2.15E-01	5.02E-01	<1.22E+00	1.96E+00	4.21E+00	4.62E+05	1.66E+01	1.81E+01	1.91E+01	<6.54E-02	0.55	0.58
E4	2.25E-01	<1.42E-01	1.23E+00	9.47E-01	2.06E+00	3.23E-01	6.19E+00	4.25E+05	—	—	1.14E+01	—	0.73	—
F1	5.02E-01	<1.27E-01	5.14E-01	7.10E-01	<1.04E+00	<6.39E-02	2.24E+01	7.58E+05	—	—	2.68E+01	—	2.52	—
G5	5.31E-01	1.50E-01	6.20E-01	5.77E-01	<9.29E-01	<5.45E-02	5.47E+00	3.59E+05	—	—	7.40E+00	—	0.63	—
J1	4.45E-01	<1.28E-01	9.50E-01	8.10E-01	3.63E+00	<6.36E-02	3.81E+00	4.97E+05	—	—	1.91E+01	—	0.47	—
J1 ^{※2}	5.07E-01	<1.78E-01	5.58E-01	5.21E-01	<1.34E+00	2.11E+00	2.51E+00	4.38E+05	3.88E+01	1.22E+01	2.46E+01	<6.54E-02	0.37	0.41
J3	3.96E-01	<1.27E-01	1.05E+00	6.84E-01	<9.45E-01	6.25E-02	2.16E+00	3.69E+05	—	—	1.04E+01	—	0.26	—
K4	2.70E-01	<1.90E-01	9.15E-01	9.24E-01	2.32E+00	9.67E-02	3.03E+00	5.12E+05	—	—	1.84E+01	—	0.38	—
L1	1.35E-01	<1.33E-01	7.92E-01	5.83E-01	<9.45E-01	1.66E-01	1.35E+01	1.26E+06	—	—	2.72E+01	—	1.52	—

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 全βの濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について
 (例) $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

H3エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1}) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1} +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全ベータ(β) [Bq/L]	全アルファ(α) [Bq/L]		
A1	<2.46E-01	<1.85E-01	6.08E-01	<4.63E-01	<1.24E+00	5.34E+00	<1.92E-01	1.25E+06	1.04E+02	<5.24E-01	3.21E+01	<8.72E-02	0.22	0.27
B5	4.40E-01	<2.67E-01	1.71E+00	<3.93E-01	<1.18E+00	2.28E+00	1.37E+00	6.50E+05	6.12E+01	<5.24E-01	2.98E+01	<8.72E-02	0.26	0.29

H4北エリア

A1	4.55E-01	<1.52E-01	9.90E-01	7.08E-01	8.76E+00	7.31E-02	1.78E+01	5.58E+05	—	—	3.97E+01	—	2.08	—
A6	3.37E-01	<1.68E-01	4.62E-01	6.53E-01	5.77E+00	1.91E-01	1.77E+00	7.14E+05	—	—	4.07E+01	—	0.27	—
A7	5.92E-01	<1.25E-01	4.36E-01	6.50E-01	<9.37E-01	<6.04E-02	6.06E+00	5.52E+05	—	—	1.60E+01	—	0.70	—
B1	2.40E-01	<1.90E-01	1.11E+00	5.74E-01	<1.03E+00	<5.88E-02	1.47E+01	1.20E+06	—	—	2.49E+01	—	1.66	—
C1	<8.87E-02	<1.22E-01	3.64E-01	7.09E-01	1.26E+00	<5.27E-02	6.37E+00	1.25E+06	—	—	1.87E+01	—	0.73	—
C1 ^{※2}	<2.42E-01	<1.46E-01	1.62E+00	<4.60E-01	<1.37E+00	<4.21E-01	1.01E+00	9.86E+05	6.72E+01	<1.20E+00	2.59E+01	—	0.15	0.19
C5	1.41E+00	1.44E-01	3.17E-01	6.56E-01	<9.38E-01	<6.68E-02	6.74E+00	6.03E+05	—	—	2.13E+01	—	0.78	—
D1	1.68E-01	<1.25E-01	5.52E-01	4.68E-01	<1.04E+00	6.22E+00	1.01E+01	1.25E+06	—	—	4.33E+01	—	1.35	—
D4	3.38E-01	<1.88E-01	4.97E-01	5.26E-01	<9.28E-01	4.39E+00	1.61E+01	6.55E+05	—	—	2.76E+01	—	1.95	—

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 全βの濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について

$$\begin{aligned} \text{(例)} \quad 4.16\text{E}+01 &= 4.16 \times 10^1 = 41.6 \\ 4.16\text{E}-01 &= 4.16 \times 10^{-1} = 0.416 \end{aligned}$$

2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

H4南エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1}) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1} +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全ベータ(β) [Bq/L]	全アルファ(α) [Bq/L]		
A1	<9.03E-02	<1.35E-01	1.96E+00	7.96E-01	1.98E+00	1.50E-01	1.49E+01	9.72E+05	—	—	1.82E+01	—	1.70	—
A11	<9.01E-02	<1.54E-01	1.11E+00	6.85E-01	<1.11E+00	2.65E-01	7.29E+00	1.18E+06	—	—	2.44E+01	—	0.84	—
B1	3.97E-01	<2.05E-01	2.12E+00	<4.74E-01	<1.46E+00	8.12E-01	8.00E-01	1.11E+06	1.02E+02	<1.20E+00	2.63E+01	<7.35E-02	0.15	0.20
B6	4.44E-01	<1.55E-01	7.04E-01	<4.29E-01	<1.21E+00	<3.97E-01	1.30E+00	1.05E+06	7.63E+01	<1.20E+00	2.24E+01	<9.11E-02	0.18	0.22
B7	<2.40E-01	<1.68E-01	7.03E-01	5.58E-01	<1.20E+00	<3.90E-01	1.70E+01	1.73E+06	2.15E+02	<1.20E+00	6.18E+01	<9.11E-02	1.92	2.03
C1	9.81E-02	<9.79E-02	3.46E-01	2.51E-01	1.05E+00	<6.58E-02	3.24E+00	2.28E+05	—	—	<4.32E+00	—	0.38	—
D1	1.68E-01	<1.07E-01	6.39E-01	4.02E-01	3.42E+00	2.35E-01	3.06E+00	7.89E+05	—	—	2.94E+01	—	0.39	—
D7	3.14E-01	<1.58E-01	4.68E-01	3.64E-01	1.27E+00	1.45E-01	3.20E+00	5.51E+05	—	—	1.89E+01	—	0.38	—
D7 ^{※2}	3.13E-01	<1.81E-01	4.88E-01	<4.78E-01	<1.38E+00	6.90E-01	2.22E+00	4.28E+05	3.97E+01	<9.58E-01	1.05E+01	—	0.29	0.31
D8	8.18E-02	<1.01E-01	1.57E+00	8.16E-01	2.34E+00	2.08E-01	1.38E+01	1.30E+06	—	—	4.86E+01	—	1.57	—
D8 ^{※2}	<2.03E-01	<2.14E-01	1.31E+00	<8.07E-01	<1.35E+00	<4.03E-01	1.25E+01	1.18E+06	1.39E+02	<9.58E-01	3.48E+01	—	1.43	1.50
E1	6.71E+00	<1.14E+00	<9.45E-01	<2.32E+00	<7.52E+00	3.12E+00	2.21E+00	7.67E+05	3.44E+01	<1.20E+00	3.50E+01	<7.35E-02	0.53	0.54

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 全βの濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について
 (例) $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

H5エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種*) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種* +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全ヘータ(β) [Bq/L]	全アルファ(α) [Bq/L]		
A1	<2.37E-01	<4.07E-01	1.24E+00	1.43E+00	1.84E+00	<3.40E-01	2.04E+00	1.17E+06	8.29E+01	<1.28E+00	1.79E+01	<9.32E-02	0.27	0.32
A12	<2.26E-01	<1.43E-01	6.65E-01	<4.59E-01	<1.28E+00	<4.06E-01	2.82E+00	5.48E+05	5.30E+01	<5.24E-01	1.51E+01	<7.68E-02	0.35	0.37
B1	<2.27E-01	<2.43E-01	1.32E+00	3.35E+00	<1.40E+00	<3.94E-01	2.23E+00	7.80E+05	2.98E+01	<1.28E+00	2.15E+01	<9.32E-02	0.29	0.31
B11	<2.02E-01	<1.17E-01	6.77E-01	<3.95E-01	<1.23E+00	4.14E-01	2.32E+00	6.68E+05	5.87E+01	<5.24E-01	1.92E+01	<7.68E-02	0.29	0.32
C1	<2.03E-01	<2.88E-01	1.51E+00	6.98E-01	1.15E+00	<4.07E-01	2.24E+00	7.10E+05	4.73E+01	<5.24E-01	1.35E+01	<9.32E-02	0.29	0.31
C7	<2.33E-01	<1.79E-01	1.56E+00	<7.17E-01	<1.91E+00	<4.41E-01	5.07E+00	7.70E+05	7.81E+01	<5.24E-01	2.36E+01	<9.32E-02	0.61	0.65

H6(I)エリア

A1	2.43E+00	<1.64E+00	<3.01E+00	<4.46E+00	<1.44E+01	8.42E-01	1.10E+00	1.52E+06	1.19E+02	<1.28E+00	3.89E+01	<9.32E-02	0.37	0.43
A5	4.26E+01	2.63E+00	<1.05E+00	<3.90E+00	<9.49E+00	2.12E+01	1.00E+00	1.19E+06	9.47E+01	<1.28E+00	9.82E+01	<9.32E-02	1.44	1.49
B1	7.04E-01	<1.33E-01	2.91E+00	<4.15E-01	<1.28E+00	1.06E+00	2.33E+00	1.34E+06	1.22E+02	5.66E+00	3.85E+01	<9.32E-02	0.33	0.40
B5	2.77E+01	<1.27E+00	<9.45E-01	<3.54E+00	<8.60E+00	8.90E+00	2.00E+00	1.06E+06	1.16E+02	3.17E+01	1.03E+02	<9.32E-02	0.94	1.03

※ 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について
 (例) $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

H6(Ⅱ)エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1}) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1} +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全ベータ(β) [Bq/L]	全アルファ(α) [Bq/L]		
A1	<2.28E-01	<2.42E-01	1.27E+00	<4.60E-01	<1.32E+00	1.20E+00	3.72E+00	1.32E+06	1.07E+02	<5.24E-01	3.05E+01	<9.87E-02	0.48	0.53
A5	<2.44E-01	<1.71E-01	1.17E+00	<4.67E-01	<1.49E+00	9.30E+00	1.19E+00	8.95E+05	6.68E+01	<5.24E-01	4.03E+01	<8.05E-02	0.47	0.50
B1	<2.11E-01	<1.79E-01	6.49E-01	5.10E-01	<1.21E+00	<3.81E-01	2.31E+00	4.49E+05	1.07E+01	<5.24E-01	<5.43E+00	<9.87E-02	0.29	0.30
B5	<2.43E-01	<2.24E-01	1.64E+00	1.80E+00	1.83E+00	<4.00E-01	5.04E+00	9.33E+05	3.24E+01	<5.24E-01	1.65E+01	<8.05E-02	0.61	0.62
C1 ^{※2}	3.32E-01	<1.67E-01	1.08E+00	<5.25E-01	<1.37E+00	4.22E-01	2.60E-01	8.39E+05	3.39E+01	<4.64E-01	6.51E+00	<8.87E-02	0.07	0.09
C3	4.19.E-01	<2.20E-01	1.06E+00	<6.89E-01	<1.90E+00	5.14E+00	<3.51E-01	1.07E+06	5.74E+01	<1.38E+00	2.29E+01	<9.03E-02	0.24	0.27

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 再分析の結果を反映

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について
 (例) $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

J1エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1}) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1} +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全ベータ(β) [Bq/L]	全アルファ(α) [Bq/L]		
A1	8.13E+01	6.67E+00	4.83E+01	2.98E+01	1.02E+01	3.05E+04	6.66E+00	3.48E+05	—	—	6.72E+04	—	1017.80	—
C1	8.29E+02	6.80E+01	4.97E+01	1.65E+02	4.81E+01	1.13E+05	2.89E+01	1.13E+06	—	—	2.21E+05	—	3791.16	—
D1	<7.39E-01	<9.23E-01	6.44E-01	2.71E+01	1.58E+02	4.33E+05	3.47E+01	7.10E+05	—	—	9.54E+05	—	14442.15	—
E1	2.08E-01	<2.62E-01	6.30E-01	8.74E+01	<1.08E+00	3.17E+01	1.78E+01	4.25E+05	—	—	1.93E+02	—	3.17	—
F1	1.05E-01	<2.63E-01	5.03E-01	8.01E+01	<8.93E-01	3.43E+02	2.57E+01	4.75E+05	—	—	9.95E+02	—	14.41	—
G1	6.09E+01	5.25E+00	4.13E+01	4.89E+01	1.85E+00	4.55E+03	1.20E+00	2.57E+05	—	—	1.35E+04	—	152.98	—
H1	6.46E-01	<1.10E-01	9.06E-02	8.68E+00	<8.87E-01	4.11E-01	2.80E+01	7.47E+05	—	—	2.77E+01	—	3.15	—
K4	9.64E-01	<5.16E-01	5.09E-01	4.08E+01	4.13E+01	8.94E+04	1.95E+00	1.62E+06	—	—	1.71E+05	—	2981.37	—
L1	3.30E-01	<1.69E-01	7.63E-01	2.39E+01	<9.22E-01	2.53E+00	1.21E+01	3.94E+05	—	—	6.20E+01	—	1.48	—
M1	2.72E-01	<2.93E-01	8.49E-01	1.05E+02	<9.46E-01	1.76E+01	1.38E+01	3.92E+05	—	—	1.82E+02	—	2.27	—
N1	1.15E+00	1.07E-01	6.71E-01	2.20E-01	<8.05E-01	2.50E-01	1.96E+00	2.86E+05	—	—	7.65E+00	—	0.25	—
N1 ^{※2}	1.32E+00	<1.29E-01	4.29E-01	<4.48E-01	<1.30E+00	2.04E+00	2.16E+00	2.59E+05	1.45E+01	<1.23E+00	1.25E+01	<6.28E-02	0.34	0.35

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 全βの濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について
 (例) 4.16E+01 = 4.16×10¹ = 41.6
 4.16E-01 = 4.16×10⁻¹ = 0.416

2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

J2エリア

グループ	核種毎の放射能濃度									告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1}) [-]
	セシウム(Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム(Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト(Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン(Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム(Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム(Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素(I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリウム(H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	全 α - β [Bq/L]	
A1 ^{※2}	1.17E+01	1.15E+00	1.02E+00	1.45E+00	1.47E+00	2.93E-01	5.91E+00	3.14E+05	2.42E+01	0.84
C1 ^{※2}	1.36E+00	<1.41E-01	3.03E-01	1.09E+01	8.45E-01	3.48E+00	1.15E+01	1.03E+06	3.81E+01	1.43
E1 ^{※2}	1.10E+00	<1.97E-01	3.28E-01	4.74E+01	1.28E+00	9.01E+00	4.62E+01	9.07E+05	9.53E+01	5.52
G1 ^{※2}	5.72E-01	<1.51E-01	4.48E-01	2.25E+01	1.58E+00	3.70E+01	3.84E+01	1.03E+06	1.86E+02	5.56
K1 ^{※2}	2.16E+00	3.57E-01	2.04E-01	6.56E+00	1.34E+00	4.52E+01	1.48E+01	7.93E+05	1.59E+02	3.20
M1 ^{※2}	2.20E+01	1.84E+00	1.08E+00	1.27E+00	2.03E+00	3.33E-01	8.96E+00	4.68E+05	4.07E+01	1.31

J3エリア

A1 ^{※2}	2.43E-01	<1.46E-01	1.86E-01	3.61E+00	<7.87E-01	4.19E+00	6.27E+00	6.26E+05	2.46E+01	0.86
B1 ^{※2}	1.49E+00	<1.58E-01	8.61E-01	3.65E+00	9.15E-01	5.98E-01	1.62E+01	4.30E+05	1.56E+01	1.85
C1 ^{※2}	2.01E+00	<2.57E-01	4.75E-01	3.33E+01	1.46E+00	1.77E+00	4.49E+01	1.08E+06	6.96E+01	5.14
E1 ^{※2}	1.04E+00	2.56E-01	4.46E-01	3.86E-01	<9.55E-01	3.16E-01	7.53E+00	3.05E+05	1.00E+01	0.88

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 放射能濃度測定後に追加でALPS処理水を受入れ。掲載のデータは、追加受入れ前の測定値。

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について

(例) $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

J4エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1}) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1} +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全ベータ(β) [Bq/L]	全アルファ(α) [Bq/L]		
A1	6.02E+00	6.44E-01	3.89E-01	1.08E+01	<9.08E-01	2.19E+01	7.72E+00	6.84E+05	—	—	9.51E+01	—	1.69	—
B1	2.23E+00	2.40E-01	4.13E-01	3.85E+00	2.02E+00	1.43E+00	7.44E+00	1.62E+06	—	—	1.85E+01	—	0.93	—
C1	1.23E+00	1.85E-01	1.38E-01	2.73E+00	<7.88E-01	4.15E+00	2.50E+00	6.24E+05	—	—	2.00E+01	—	0.44	—
C1 ^{※2}	1.20E+00	<2.00E-01	<1.54E-01	1.15E+00	<1.21E+00	1.24E+01	2.23E+00	6.04E+05	5.81E+00	<1.02E+00	2.47E+01	<6.00E-02	0.69	0.69
D1	2.92E+00	3.16E-01	4.47E-01	9.34E+00	2.42E+00	1.41E+03	3.36E+01	1.24E+06	—	—	3.65E+03	—	50.68	—
E1	2.37E+00	<1.68E-01	1.06E+01	1.21E+01	<1.04E+00	5.97E+02	8.48E+00	1.15E+06	—	—	1.39E+03	—	20.94	—
F1	2.58E+00	1.84E-01	5.68E+00	1.52E+01	1.35E+00	1.40E+03	8.68E+00	4.36E+05	—	—	2.31E+03	—	47.79	—
G1	3.50E-01	<1.62E-01	1.62E+00	2.03E+00	1.35E+00	6.70E+01	8.49E+00	4.02E+05	—	—	1.93E+02	—	3.21	—
H1	3.24E+00	2.45E-01	3.97E+00	1.70E+01	<9.31E-01	1.81E+03	5.87E+00	3.81E+05	—	—	2.60E+03	—	60.98	—
K1	3.38E+00	<1.66E-01	7.08E+00	2.03E+01	1.43E+00	1.82E+03	5.72E+00	4.07E+05	—	—	2.99E+03	—	61.38	—
L1	7.19E-01	<1.82E-01	6.95E-01	5.31E-01	<1.19E+00	5.10E-01	1.15E+00	2.59E+05	—	—	5.78E+00	—	0.17	—
L1 ^{※2}	6.85E-01	<1.60E-01	4.37E-01	<6.03E-01	<1.25E+00	1.09E+01	7.03E-01	2.40E+05	2.09E+01	<1.02E+00	2.19E+01	<6.00E-02	0.47	0.48
L3	5.83E-01	<1.79E-01	6.14E-01	<4.38E-01	<1.12E+00	6.26E-01	5.42E-01	2.60E+05	—	—	7.91E+00	—	0.11	—
L5	6.76E-01	<3.35E-01	5.89E-01	<4.41E-01	<1.16E+00	8.02E-01	5.32E-01	2.58E+05	—	—	8.69E+00	—	0.11	—

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 全βの濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について
 (例) 4.16E+01 = 4.16×10¹ = 41.6
 4.16E-01 = 4.16×10⁻¹ = 0.416

2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

J5エリア

グループ	核種毎の放射能濃度									告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{*1}) [-]
	セシウム(Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム(Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト(Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン(Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム(Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム(Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素(I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム(H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	全α-β [Bq/L]	
A1	3.96E-01	<1.15E-01	1.70E-01	8.98E+00	8.54E-01	9.63E+01	3.02E+01	9.05E+05	2.91E+02	6.59
B1	3.63E-01	<1.39E-01	2.15E-01	1.43E+01	<9.59E-01	7.15E+01	3.41E+01	8.67E+05	2.45E+02	6.20
C1	4.80E-01	<1.42E-01	4.05E-01	1.53E+01	9.56E-01	4.17E+01	5.62E+01	8.24E+05	1.72E+02	7.68
D1	5.31E-01	<1.39E-01	5.30E-01	1.87E+01	<7.69E-01	2.86E+01	5.25E+01	8.23E+05	1.24E+02	6.83
E1	1.10E+00	<1.89E-01	6.45E-01	3.50E+01	9.57E-01	1.52E+00	1.68E+01	2.75E+05	5.97E+01	1.99

J6エリア

A1 ^{*2}	6.96E-01	<1.19E-01	2.13E-01	8.96E+00	<7.52E-01	1.12E+02	1.62E+01	9.13E+05	3.46E+02	5.57
B1 ^{*2}	4.24E+00	3.48E-01	5.35E-01	3.45E+00	1.29E+00	7.08E-01	5.92E+00	1.21E+06	1.88E+01	0.75
C1 ^{*2}	1.04E+00	2.26E-01	4.61E-01	8.17E-01	<8.85E-01	2.41E+00	6.74E+00	3.63E+05	2.20E+01	0.86
D1 ^{*2}	3.13E+00	2.33E-01	6.63E-01	5.75E+00	2.00E+00	1.12E+00	8.05E+00	1.40E+06	3.48E+01	1.00
E1 ^{*2}	2.39E+00	<2.50E-01	6.34E-01	2.38E+01	1.82E+00	1.50E+00	1.48E+01	1.41E+06	4.46E+01	1.78

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 放射能濃度測定後に追加でALPS処理水を受入れ。掲載のデータは、追加受入れ前の測定値。

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について

(例) $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

J7エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1}) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1} + C-14 + Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限 度 9.00E+00 [Bq/L]	トリウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全 α - β (β) [Bq/L]	全 α 7 α (α) [Bq/L]		
A1 平均 ^{※2}	5.72E-01	1.13E-01	9.33E-01	7.57E-01	8.26E-01	5.44E-01	3.60E+00	4.42E+05	—	—	1.16E+01	—	0.44	—
A1上 ^{※3}	6.31E-01	<9.84E-02	9.67E-01	7.23E-01	<7.97E-01	4.56E-01	3.63E+00	4.58E+05	—	—	1.11E+01	—	0.44	—
A1中 ^{※3}	5.87E-01	<1.39E-01	1.01E+00	8.45E-01	9.25E-01	5.83E-01	3.81E+00	4.62E+05	—	—	1.25E+01	—	0.47	—
A1下 ^{※3}	4.96E-01	1.01E-01	8.23E-01	7.04E-01	<7.58E-01	5.94E-01	3.36E+00	4.07E+05	—	—	1.13E+01	—	0.41	—
A1 ^{※4}	8.06E-01	<1.33E-01	3.32E-01	<4.09E-01	<1.18E+00	4.85E+00	3.21E+00	3.61E+05	1.39E+01	<1.02E+00	1.37E+01	<5.36E-02	0.54	0.55
A6 平均 ^{※2}	1.49E+00	2.21E-01	8.86E-01	8.69E-01	8.22E-01	2.16E+00	6.02E+00	3.21E+05	—	—	1.88E+01	—	0.78	—
A6上 ^{※3}	1.36E+00	2.50E-01	1.10E+00	9.47E-01	<7.66E-01	1.53E+00	6.09E+00	3.17E+05	—	—	1.79E+01	—	0.76	—
A6中 ^{※3}	1.47E+00	2.39E-01	1.12E+00	1.07E+00	8.40E-01	1.72E+00	5.90E+00	3.17E+05	—	—	1.89E+01	—	0.75	—
A6下 ^{※3}	1.65E+00	1.74E-01	4.40E-01	5.93E-01	8.61E-01	3.23E+00	6.08E+00	3.30E+05	—	—	1.96E+01	—	0.82	—

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 上段・中段・下段の平均値

※3 放射能濃度測定後に追加でALPS処理水を受入れ。掲載のデータは、追加受入れ前の測定値。

※4 全 β の濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について
 (例) $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

J7エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1}) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1} +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全ベータ(β) [Bq/L]	全アルファ(α) [Bq/L]		
A7 平均 ^{※2}	2.05E-01	1.45E-01	2.85E+00	8.80E-01	1.69E+00	3.82E-01	5.96E+00	3.02E+05	—	—	1.38E+01	—	0.71	—
A7上 ^{※3}	2.00E-01	<1.57E-01	3.79E+00	1.20E+00	2.25E+00	4.00E-01	7.11E+00	2.72E+05	—	—	1.39E+01	—	0.85	—
A7中 ^{※3}	1.51E-01	<1.10E-01	3.38E+00	8.07E-01	1.87E+00	<3.24E-01	6.71E+00	2.83E+05	—	—	1.53E+01	—	0.80	—
A7下 ^{※3}	2.65E-01	<1.69E-01	1.39E+00	6.33E-01	9.66E-01	4.23E-01	4.07E+00	3.51E+05	—	—	1.20E+01	—	0.49	—
B1 平均 ^{※2}	2.17E-01	1.17E-01	2.96E+00	1.03E+00	1.49E+00	5.69E-01	7.98E+00	3.05E+05	—	—	1.41E+01	—	0.94	—
B1上 ^{※3}	1.03E-01	<1.10E-01	3.95E+00	1.21E+00	1.87E+00	6.81E-01	1.09E+01	2.95E+05	—	—	1.62E+01	—	1.27	—
B1中 ^{※3}	1.52E-01	<1.34E-01	3.72E+00	1.09E+00	1.85E+00	7.02E-01	9.89E+00	2.95E+05	—	—	1.33E+01	—	1.16	—
B1下 ^{※3}	3.95E-01	<1.05E-01	1.21E+00	8.03E-01	<7.32E-01	<3.23E-01	3.16E+00	3.26E+05	—	—	1.29E+01	—	0.38	—
B6上	3.38E-01	<1.07E-01	3.10E+00	7.72E-01	1.80E+00	3.53E-01	6.98E+00	2.91E+05	—	—	1.28E+01	—	0.83	—
B6中	3.81E-01	<1.16E-01	3.07E+00	9.32E-01	1.59E+00	3.48E-01	6.83E+00	2.93E+05	—	—	1.35E+01	—	0.81	—
B6下	3.44E-01	1.67E-01	1.68E+00	6.25E-01	1.20E+00	3.78E-01	4.83E+00	3.20E+05	—	—	1.45E+01	—	0.58	—

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 上段・中段・下段の平均値

※3 放射能濃度測定後に追加でALPS処理水を受入れ。掲載のデータは、追加受入れ前の測定値。

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について
 (例) $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

J7エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1}) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1} +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全ベータ(β) [Bq/L]	全アルファ(α) [Bq/L]		
D1上	4.49E-01	<1.48E-01	8.25E-01	4.67E-01	<8.22E-01	<7.32E-02	3.03E+00	2.86E+05	—	—	1.62E+01	—	0.36	—
D1中	4.61E-01	<9.69E-02	8.44E-01	3.20E-01	<7.68E-01	<7.18E-02	2.91E+00	2.88E+05	—	—	1.59E+01	—	0.35	—
D1下	3.91E-01	<1.07E-01	1.05E+00	4.59E-01	<7.30E-01	7.85E-02	3.58E+00	2.89E+05	—	—	1.50E+01	—	0.42	—
D1 ^{※2}	<2.47E-01	<2.45E-01	9.49E-01	<4.54E-01	<1.40E+00	7.46E-01	2.79E+00	2.72E+05	1.72E+01	4.36E+00	1.05E+01	—	0.36	0.37
D5上	2.54E-01	<1.41E-01	2.33E+00	9.23E-01	1.27E+00	3.55E-01	4.24E+00	3.28E+05	—	—	1.57E+01	—	0.51	—
D5中	2.35E-01	1.77E-01	2.37E+00	8.40E-01	<7.94E-01	3.23E-01	4.13E+00	3.24E+05	—	—	1.75E+01	—	0.50	—
D5下	3.86E-01	<1.26E-01	2.30E+00	9.56E-01	9.74E-01	3.69E-01	3.95E+00	3.18E+05	—	—	1.57E+01	—	0.48	—
E1上	5.97E-01	1.40E-01	6.59E-01	6.05E-01	<7.37E-01	5.54E-01	2.73E+00	2.69E+05	—	—	1.19E+01	—	0.34	—
E1中	6.61E-01	<9.84E-02	6.18E-01	3.79E-01	<8.12E-01	5.09E-01	2.70E+00	2.66E+05	—	—	1.33E+01	—	0.34	—
E1下	5.81E-01	<9.30E-02	5.90E-01	5.12E-01	<8.73E-01	5.05E-01	2.55E+00	2.73E+05	—	—	1.17E+01	—	0.32	—
E6上	1.90E+00	3.21E-01	4.73E-01	3.45E+00	<8.37E-01	5.28E+00	6.11E+00	3.76E+05	—	—	3.34E+01	—	0.90	—
E6中	1.95E+00	2.78E-01	5.21E-01	3.38E+00	<8.05E-01	5.63E+00	6.43E+00	3.76E+05	—	—	3.34E+01	—	0.94	—
E6下	1.91E+00	<1.31E-01	5.47E-01	3.44E+00	<9.53E-01	5.33E+00	6.18E+00	3.75E+05	—	—	3.20E+01	—	0.90	—

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 全βの濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について

(例) $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$

$4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

J8エリア

グループ	核種毎の放射能濃度									告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1}) [-]
	セシウム(Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム(Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト(Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン(Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム(Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム(Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素(I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム(H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	全α-β [Bq/L]	
A1	1.38E+00	<1.74E-01	4.57E-01	<5.78E-01	<1.31E+00	1.82E+00	4.59E+00	2.64E+05	1.34E+01	0.60
A4	7.44E-01	<1.91E-01	5.52E-01	<4.95E-01	<1.26E+00	8.27E+00	6.47E+00	2.59E+05	2.25E+01	1.02
A5	8.09E-01	<2.22E-01	5.49E-01	6.95E-01	1.74E+00	5.43E+00	6.31E+00	2.72E+05	2.35E+01	0.92
B1	1.22E+00	<2.18E-01	7.18E-01	<6.26E-01	<1.38E+00	3.45E+00	5.41E+00	2.71E+05	1.92E+01	0.75
B3	6.91E-01	<1.77E-01	5.18E-01	4.61E-01	1.34E+00	6.89E+00	6.30E+00	2.67E+05	2.80E+01	0.96

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について
 (例) $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

J9エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1}) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1} +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限 度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全 α -タ(β) [Bq/L]	全 γ -タ(a) [Bq/L]		
A1	2.71E-01	<2.73E-01	5.74E-01	<4.19E-01	2.16E+00	1.07E-01	1.25E+00	1.86E+05	—	—	6.79E+00	—	0.17	—
A1 ^{※2}	2.89E-01	<2.01E-01	4.84E-01	<4.48E-01	<1.21E+00	2.21E+00	7.08E-01	1.72E+05	1.67E+01	<1.23E+00	1.04E+01	<6.54E-02	0.17	0.18
A3	2.76E-01	<1.62E-01	6.39E-01	<5.92E-01	<1.31E+00	9.36E-02	1.63E+00	2.63E+05	—	—	6.67E+00	—	0.21	—
A6	3.34E-01	<1.34E-01	5.04E-01	<4.21E-01	<1.21E+00	1.10E-01	1.95E+00	3.04E+05	—	—	6.22E+00	—	0.24	—
B1	2.65E-01	<1.99E-01	6.67E-01	7.04E-01	3.13E+00	2.28E-01	3.63E-01	1.71E+05	—	—	1.09E+01	—	0.09	—
B4	2.42E-01	<1.69E-01	4.88E-01	<6.05E-01	<1.31E+00	1.31E-01	1.56E+00	2.58E+05	—	—	5.75E+00	—	0.20	—
B6	3.06E-01	<3.06E-01	5.05E-01	6.11E-01	<1.18E+00	<8.48E-02	1.93E+00	2.69E+05	—	—	6.22E+00	—	0.24	—

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 全 β の濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について
 (例) $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

K1エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1}) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1} +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全ヘータ(β) [Bq/L]	全アルファ(α) [Bq/L]		
B1	2.56E-01	<2.42E-01	8.32E-01	3.42E+00	<1.31E+00	2.97E+02	4.95E+00	4.34E+05	2.53E+00	<1.23E+00	6.78E+02	<6.28E-02	10.46	10.47

K3エリア

A1	6.35E-01	1.52E-01	4.06E-01	3.08E-01	<6.99E-01	<2.39E-01	3.79E+00	2.46E+05	—	—	5.00E+00	—	0.45	—
A3	6.03E-01	<9.38E-02	6.39E-01	2.27E-01	<8.18E-01	<2.13E-01	4.01E+00	2.72E+05	—	—	1.62E+01	—	0.47	—
A3 ^{※2}	1.31E+00	<3.87E-01	5.10E-01	<1.09E+00	<2.78E+00	<4.65E-01	3.82E+00	2.37E+05	1.74E+01	9.12E+00	1.88E+01	—	0.49	0.51
A6	2.59E-01	<1.40E-01	1.21E+00	3.05E-01	<7.84E-01	4.85E-01	2.22E+00	3.29E+05	—	—	1.42E+01	—	0.28	—
B1	5.29E-01	1.38E-01	6.32E-01	3.11E-01	<7.85E-01	<2.69E-01	3.52E+00	2.80E+05	—	—	1.26E+01	—	0.42	—
B4	2.61E-01	<1.05E-01	1.26E+00	<3.02E-01	<9.52E-01	<2.84E-01	2.09E+00	3.29E+05	—	—	1.31E+01	—	0.26	—
B6	3.03E-01	<9.52E-02	1.01E+00	2.61E-01	<8.39E-01	<2.40E-01	1.53E+00	3.07E+05	—	—	1.12E+01	—	0.20	—

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 全βの濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について
 (例) 4.16E+01 = 4.16×10¹ = 41.6
 4.16E-01 = 4.16×10⁻¹ = 0.416

2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

K4エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1}) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1} +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリウム (Th)-232 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全 α - β [Bq/L]	全アルファ(α) [Bq/L]		
A1 平均 ^{※2}	1.16E-01	9.25E-02	4.76E-01	3.28E-01	8.11E-01	6.87E-02	4.50E-01	1.54E+05	—	—	7.44E+00	—	0.07	—
A1上段	7.37E-02	<9.32E-02	4.68E-01	3.49E-01	<7.95E-01	<6.41E-02	4.42E-01	1.54E+05	—	—	7.82E+00	—	0.06	—
A1中段	8.37E-02	<8.53E-02	5.31E-01	2.24E-01	<8.11E-01	<7.38E-02	4.56E-01	1.54E+05	—	—	6.69E+00	—	0.07	—
A1下段	1.92E-01	<9.90E-02	4.30E-01	4.12E-01	<8.28E-01	<6.83E-02	4.52E-01	1.55E+05	—	—	7.82E+00	—	0.07	—
A1 ^{※3}	1.61E-01	<1.32E-01	2.85E-01	<3.70E-01	<1.16E+00	6.30E+00	4.89E-01	1.31E+05	1.44E+01	<1.02E+00	7.44E+00	<5.36E-02	0.28	0.29
A6 平均 ^{※2}	6.60E-01	1.18E-01	6.54E-01	3.71E-01	8.31E-01	7.75E-02	2.59E+00	1.90E+05	—	—	8.57E+00	—	0.31	—
A6上段	6.35E-01	1.03E-01	6.70E-01	3.02E-01	<8.55E-01	<7.45E-02	2.60E+00	1.90E+05	—	—	8.00E+00	—	0.31	—
A6中段	6.52E-01	1.11E-01	6.33E-01	4.39E-01	<8.47E-01	<7.92E-02	2.64E+00	1.92E+05	—	—	9.13E+00	—	0.32	—
A6下段	6.94E-01	1.40E-01	6.60E-01	3.73E-01	<7.91E-01	<7.88E-02	2.54E+00	1.89E+05	—	—	8.57E+00	—	0.31	—
B1 平均 ^{※2}	3.54E-01	1.14E-01	5.90E-01	3.61E-01	8.40E-01	2.05E-01	1.83E+00	2.17E+05	—	—	1.07E+01	—	0.23	—
B1上段	2.87E-01	<9.62E-02	6.11E-01	3.91E-01	<8.03E-01	—	—	2.17E+05	—	—	1.18E+01	—	—	—
B1中段	3.67E-01	<1.41E-01	5.88E-01	3.30E-01	<8.72E-01	2.05E-01	1.83E+00	2.19E+05	—	—	7.65E+00	—	0.23	—
B1下段	4.08E-01	<1.04E-01	5.71E-01	3.61E-01	<8.44E-01	—	—	2.17E+05	—	—	1.28E+01	—	—	—
B1 ^{※3}	4.70E-01	<1.93E-01	5.56E-01	<4.15E-01	<1.18E+00	8.63E+00	1.32E+00	1.94E+05	1.83E+01	<1.02E+00	1.30E+01	<5.36E-02	0.46	0.47

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 上段・中段・下段の平均値

※3 全 β の濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について

(例) $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$

$4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

K4エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1}) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1} +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全ベータ(β) [Bq/L]	全アルファ(α) [Bq/L]		
B6 平均 ^{※2}	7.02E-01	1.74E-01	5.83E-01	3.38E-01	1.67E+00	4.90E-01	2.44E+00	1.97E+05	—	—	1.16E+01	—	0.32	—
B6上段	7.16E-01	1.74E-01	5.22E-01	3.23E-01	1.47E+00	—	—	1.97E+05	—	—	1.11E+01	—	—	—
B6中段	6.72E-01	1.39E-01	6.77E-01	4.45E-01	2.03E+00	4.90E-01	2.44E+00	1.98E+05	—	—	1.24E+01	—	0.32	—
B6下段	7.20E-01	2.09E-01	5.49E-01	2.48E-01	1.51E+00	—	—	1.98E+05	—	—	1.12E+01	—	—	—
C1	3.59E-01	<1.45E-01	3.13E-01	<4.34E-01	<1.23E+00	<3.98E-01	2.11E+00	1.40E+05	9.35E+00	<4.07E-01	<6.10E+00	<5.36E-02	0.27	0.27
C2	5.11E-01	<1.36E-01	2.93E-01	<4.37E-01	<1.28E+00	<3.78E-01	1.87E+00	1.50E+05	9.64E+00	<4.07E-01	<6.10E+00	<5.36E-02	0.24	0.25
C3	4.43E-01	<1.46E-01	2.94E-01	<4.53E-01	<1.21E+00	<4.19E-01	1.44E+00	1.58E+05	6.69E+00	<4.07E-01	<6.77E+00	<5.36E-02	0.20	0.20
C4	4.44E-01	<1.46E-01	1.84E-01	<4.44E-01	<1.35E+00	<3.91E-01	1.23E+00	1.68E+05	9.40E+00	<4.07E-01	<6.77E+00	<5.36E-02	0.17	0.18
C5 平均 ^{※2}	6.59E-01	1.31E-01	4.44E-01	2.58E-01	1.05E+00	7.84E-02	1.82E+00	2.10E+05	—	—	6.30E+00	—	0.23	—
C5上段	6.29E-01	1.92E-01	3.86E-01	<1.99E-01	<8.37E-01	—	—	2.06E+05	—	—	6.61E+00	—	—	—
C5中段	6.57E-01	<1.23E-01	4.43E-01	<2.80E-01	<1.06E+00	<7.84E-02	1.82E+00	2.11E+05	—	—	6.61E+00	—	0.23	—
C5下段	6.90E-01	<7.84E-02	5.04E-01	<2.95E-01	1.26E+00	—	—	2.11E+05	—	—	5.67E+00	—	—	—
C5 ^{※3}	6.35E-01	<1.18E-01	2.84E-01	<3.96E-01	<1.26E+00	8.05E+00	1.25E+00	1.82E+05	1.69E+01	<1.02E+00	1.87E+01	<5.69E-02	0.43	0.44

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 上段・中段・下段の平均値

※3 全βの濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について
 (例) $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

K4エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1}) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1} +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全ベータ(β) [Bq/L]	全アルファ(α) [Bq/L]		
D1 平均 ^{※2}	1.56E-01	1.23E-01	8.45E-01	4.42E-01	9.60E-01	7.43E-02	3.45E+00	1.86E+05	—	—	7.30E+00	—	0.40	—
D1上段	1.82E-01	<1.60E-01	8.68E-01	3.88E-01	<9.95E-01	—	—	1.85E+05	—	—	7.55E+00	—	—	—
D1中段	1.38E-01	<9.26E-02	7.33E-01	3.81E-01	<8.30E-01	<7.43E-02	3.45E+00	1.86E+05	—	—	6.99E+00	—	0.40	—
D1下段	1.48E-01	<1.15E-01	9.33E-01	5.59E-01	<1.05E+00	—	—	1.87E+05	—	—	7.37E+00	—	—	—
D1 ^{※3}	1.42E-01	<2.07E-01	5.00E-01	4.41E-01	<1.29E+00	2.55E+00	2.24E+00	1.58E+05	1.26E+01	<1.68E+00	1.23E+01	<6.28E-02	0.36	0.36
D2	2.43E-01	<1.37E-01	3.08E-01	<4.12E-01	<1.29E+00	<4.32E-01	1.53E+00	1.43E+05	6.19E+00	<4.07E-01	9.44E+00	<6.00E-02	0.20	0.21
D3	5.83E-01	<1.35E-01	2.63E-01	<4.54E-01	<1.19E+00	<3.72E-01	1.51E+00	1.56E+05	7.98E+00	<4.07E-01	1.04E+01	<6.00E-02	0.20	0.21
D4	6.64E-01	<1.50E-01	2.52E-01	<4.37E-01	<9.08E-01	<4.30E-01	1.15E+00	1.66E+05	5.89E+00	<4.07E-01	1.00E+01	<6.28E-02	0.16	0.17
D5	7.61E-01	<1.23E-01	3.68E-01	<4.27E-01	<1.28E+00	<4.19E-01	1.08E+00	1.70E+05	6.78E+00	<4.07E-01	<6.28E+00	<6.28E-02	0.16	0.16

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 上段・中段・下段の平均値

※3 全βの濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について (例) 4.16E+01 = 4.16×10 ¹ = 41.6 4.16E-01 = 4.16×10 ⁻¹ = 0.416
--

2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

K4エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1}) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1} +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全β [Bq/L]	全α [Bq/L]		
E1 平均 ^{※2}	4.86E-01	1.61E-01	7.11E-01	5.07E-01	1.73E+00	1.56E-01	2.41E+00	2.83E+05	—	—	1.38E+01	—	0.30	—
E1上段	4.29E-01	1.98E-01	7.04E-01	5.11E-01	1.53E+00	—	—	2.83E+05	—	—	1.22E+01	—	—	—
E1中段	5.46E-01	1.74E-01	7.79E-01	4.74E-01	1.85E+00	1.56E-01	2.41E+00	2.84E+05	—	—	1.43E+01	—	0.30	—
E1下段	4.83E-01	<1.13E-01	6.51E-01	5.35E-01	1.80E+00	—	—	2.81E+05	—	—	1.49E+01	—	—	—
E1 ^{※3}	5.92E-01	<1.53E-01	4.31E-01	<4.51E-01	<1.14E+00	7.29E+00	1.86E+00	2.42E+05	1.45E+01	6.18E+00	3.09E+01	<5.69E-02	0.47	0.49
E5 平均 ^{※2}	7.36E-01	1.80E-01	4.76E-01	2.83E-01	1.81E+00	5.92E-01	1.67E+00	2.16E+05	—	—	1.21E+01	—	0.24	—
E5上段	7.42E-01	<1.05E-01	4.90E-01	2.64E-01	2.00E+00	—	—	2.17E+05	—	—	9.04E+00	—	—	—
E5中段	7.08E-01	1.81E-01	4.33E-01	3.19E-01	1.62E+00	5.92E-01	1.67E+00	2.17E+05	—	—	1.28E+01	—	0.24	—
E5下段	7.57E-01	2.54E-01	5.06E-01	2.66E-01	1.80E+00	—	—	2.15E+05	—	—	1.43E+01	—	—	—

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 上段・中段・下段の平均値

※3 全βの濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について

(例) $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

3. タンク群毎の放射能濃度実測値(再利用タンク) (2021年6月30日現在)

3. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンク）

G3エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1}) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1} +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全 α -タ(β) [Bq/L]	全アルファ(α) [Bq/L]		
H1	2.05E+00	<1.95E-01	6.96E-01	6.27E-01	<1.22E+00	2.64E+02	<2.39E-01	7.00E+05	1.41E+01	<1.08E+00	5.40E+02	<6.00E-02	8.88	8.88
H4	4.01E+01	2.18E+00	4.62E+00	1.69E+00	<2.54E+00	3.38E+03	3.26E-01	4.97E+05	1.43E+01	<1.08E+00	7.25E+03	<6.00E-02	113.17	113.18

K2エリア

B1	7.72E-01	<2.51E-01	1.20E+00	7.32E-01	<1.81E+00	5.77E+01	3.16E+00	2.98E+05	2.86E+01	<8.31E-01	2.16E+02	<7.97E-02	2.31	2.33
B6	4.68E-01	<4.55E-01	5.53E-01	2.28E+00	<2.57E+00	2.95E+01	3.77E-01	6.90E+05	1.88E+01	<8.31E-01	1.88E+02	<7.97E-02	1.07	1.08
B7	2.89E-01	<4.64E-01	1.96E+00	1.24E+01	<2.17E+00	5.30E+02	1.25E+00	5.69E+05	1.23E+01	<7.97E-01	1.21E+03	<7.13E-02	17.85	17.86
C1 ^{※2}	<2.15E-01	<2.26E-01	1.47E-01	8.17E-01	<1.16E+00	<4.21E-01	<7.74E-02	4.64E+05	1.05E+01	<2.41E-01	<6.45E+00	<6.89E-02	0.04	0.05
C7	<2.55E-01	<3.18E-01	1.05E+00	1.09E+01	<1.48E+00	5.19E+02	6.58E-01	4.21E+05	1.02E+01	<2.41E-01	1.11E+03	<6.89E-02	17.41	17.42
D1 ^{※2}	2.41E-01	<1.45E-01	8.64E-01	<4.86E-01	<1.22E+00	<3.98E-01	5.21E-01	4.41E+05	9.74E+00	<7.97E-01	5.81E+00	<7.13E-02	0.09	0.10

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 再利用タンクに連結して受け入れを行った処理水タンク

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について
 (例) 4.16E+01 = 4.16×10¹ = 41.6
 4.16E-01 = 4.16×10⁻¹ = 0.416

高性能ALPSサンプルタンク内包水の放射能濃度

	主要7核種毎の放射能濃度							告示濃度比総和 (主要7核種)
	セシウム Cs-137 告示濃度 9.00E+01	セシウム Cs-134 告示濃度 6.00E+01	コバルト Co-60 告示濃度 2.00E+02	アンチモン Sb-125 告示濃度 8.00E+02	ルテチウム Ru-106 告示濃度 1.00E+02	ストロンチウム Sr-90 告示濃度 3.00E+01	ヨウ素 I-129※ 告示濃度 9.00E+00	
サンプルタンク (A)	<2.70E-01	<2.60E-01	2.20E+00	1.12E+00	<1.73E+00	8.70E-01	1.80E+01	2.07
サンプルタンク (B)	<2.72E-01	<2.23E-01	2.08E+00	1.13E+00	<1.68E+00	9.28E-01	1.59E+01	1.83
サンプルタンク (C)	<2.59E-01	<2.44E-01	1.76E+00	8.17E-01	<1.64E+00	8.79E-01	1.67E+01	1.91

【告示濃度比総和1超過に対する考察】

高性能ALPS運用当時（2014年）は稼働率を優先し、吸着材寿命の短いI-129除去用吸着材をほとんど交換せずに処理していたため、サンプルタンク内内包水の告示濃度比総和に与える影響としては、I-129の寄与が大きい

汚染水等構内溜まり水の状況 (2021.9.23時点)

資料3

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
1	2号機大物搬入口屋上	・2号機大物搬入口屋上	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【2階】 Cs-134: <1.0E1 Cs-137: 2.1E1 全β: 2.6E1 H-3: 1.0E2 (2015.11.2) 【1階】 Cs-134: 1.1E1 Cs-137: 4.0E1 全β: 4.1E1 H-3: 1.1E2 (2015.11.2)	
1-2	2号機R/B	2号機R/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【上層】 Cs-134: 200~340 Cs-137: 650~1100 全β: 920~1900 Sr-90: 10~20 H-3: ND(<100) (2015.1.16)	
2	5,6号機貯留タンク(フランジタンク)	・5,6号機貯留タンク(フランジタンク)	6号機北側	約9,600 (2021.6時点) 約8,900 (2021.9時点)	Cs-134: 1.8E0 Cs-137: 4.6E1 (2021.3.18) 2.3E0 6.3E1 (2021.8.18)	5・6号建屋滞留水・RO処理水を貯留
3	5,6号機貯留タンク(溶接タンク)	・5,6号機貯留タンク(溶接タンク)	6号機北側	約7,000 (2021.6時点) 約6,300 (2021.9時点)	Cs-134: 7.7 Cs-137: 4.3E1 (2016.10.3)	5・6号建屋滞留水を貯留
4-2	吸着塔一時保管施設	水処理二次廃棄物(SARRY、KURION、ALPS処理カラム、モバイル式処理装置)	吸着塔一時保管施設(第一施設、第四施設)	1程度(1基あたり)	Cs-137: 2.0E3~1.6E7 Sr-90: 5.3E3~4.3E7 (2017.2~2017.3)	
7	濃縮水タンク(蒸発濃縮装置濃縮水)	蒸発濃縮装置濃縮水用ノッチタンク(スラリー/濃縮水)	タンクエリア(Cエリア)	約65×1 (2019.2.1時点)	【蒸発濃縮装置濃縮水】 Cs-134: 1.7E4 Cs-137: 2.5E4 全β: 4.7E8 (2011.12.20)	蒸発濃縮装置濃縮水を貯留 ※1: 全5タンクの水量を実測して算出
9	5, 6号機逆洗弁ピット及び吐出弁ピット	・5号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	5号機スクリーン近傍	約550	Cs-134: ND Cs-137: 3.4E0 (2016.10.5)	
		・6号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	6号機スクリーン近傍	約850	Cs-134: ND Cs-137: 3.7E0 (2016.10.5)	
		・5号機逆洗弁ピット	5号タービン建屋海側	約1,500	Cs-134: 3.0E0 Cs-137: 1.9E1 (2016.10.3)	
		・6号機逆洗弁ピット	6号タービン建屋海側	約1,500	Cs-134: 1.5E0 Cs-137: 1.1E1 (2016.10.3)	
10	1~4号機T/B屋根	・1号機T/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【1号機T/B上層】 Cs-134: 3.0E1 Cs-137: 5.8E2 (2021.6.28) 全β: 4.4E1 (2020.7.29) ND 8.4E1 (2021.8.26)	
		・2号機T/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【2号機T/B上層】 Cs-134: ND Cs-137: 1.2E1 (2021.3.15) 全β: 8.9E0 (2020.7.29) ND 9.3E1 (2021.8.26)	
11	1号CSTタンク(溶接タンク)	・1号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約740 (2016.10.26)	Cs-134: 2.9E+4 Cs-137: 1.9E+5 全β: 2.2E+5 (2016.11.7)	RO処理水を貯留

汚染水等構内溜まり水の状況 (2021.9.23時点)

資料3

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
12	2号CSTタンク (溶接タンク)	・2号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1,850 (2020.3.19) 約1,900 (2021.9.15)	【CST入口水(淡水化装置出口水)】 H-3: 2.1E5 2.3E5 Sr-90: ND (2021.6.1) (2021.7.2) 【2号CSTタンク貯留水】 Cs-134: 1.6E+02 Cs-137: 1.7E+03 (2018.12.14) 全β: 1.5E+03 (2018.12.19)	2020.3.18より1~3号機炉注水源としての運用開始
13	3号CSTタンク (溶接タンク)	・3号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1,040 (2021.3.19) 約1,970 (2021.9.15)	【3号CSTタンク貯留水】 Cs-134: 1.9E+2 Cs-137: 3.5E+3 全β: 6.3E+3 H-3: 7.5E+5 (2020.7.16)	RO処理水を貯留 1~3号機炉注水源
15	地下貯水槽	地下貯水槽No. 1	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 1.3E6 (2018.9.12) (参考:漏えい検知孔水) 全β: 8.4E3 (2021.8.17) H-3: ND (2019.9.4)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
16	地下貯水槽	地下貯水槽No. 2	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.1E6 (2018.9.12) (参考:漏えい検知孔水) 全β: 1.5E4 (2021.8.18) H-3: ND (2019.9.4)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
17	地下貯水槽	地下貯水槽No. 3	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.2E6 (2018.9.11) (参考:漏えい検知孔水) 全β: 3.0E4 (2021.6.11) 2.1E4 (2021.8.20) H-3: ND (2019.9.5)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
18	地下貯水槽	地下貯水槽No. 4	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 2.8E4 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
20	地下貯水槽	地下貯水槽No. 6	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 7.8E6 (2018.9.11) (参考:漏えい検知孔水) 全β: 4.5E1 (2019.9.5) H-3: ND (2019.9.5)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
21	地下貯水槽	地下貯水槽No. 7	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 1.5E2 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
22	1~4号建屋接続トレンチ	・1号機コントロールケーブルダクト ・集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト (2号機廃棄物系共通配管ダクト) ・1号機薬品タンク連絡ダクト 等	1~4号機周辺	約4~170 (2020.12)	Cs-134: ND~3.2E2 Cs-137: 9.6E1~7.6E3 全β: 9.6E1~8.0E3 H-3: 1.0E2~6.5E3 (2020.12)	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(1)「2020年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照
23	2~4号機DG連絡ダクト	・2~4号機DG連絡ダクト	2~4号機山側	約1,600 (2020.12)	Cs-134: ND Cs-137: 8.7E1 全β: 1.0E2 H-3: ND (2020.12.18)	
24-1	1号機海水配管トレンチ	・1号機海水配管トレンチ	1号機タービン建屋海側	約400 (2020.12)	Cs-134: ND Cs-137: 4.8E1 全β: 7.3E1 (2020.12.21)	
26	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	・3号機起動用変圧器ケーブルダクト	3号機山側	約830 (2020.12)	Cs-134: 4.8E1 Cs-137: 4.0E2 全β: 4.4E2 H-3: ND (2017.10)	

汚染水等構内溜まり水の状況 (2021.9.23時点)

資料3

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
28	1-4号建屋未接続トレンチ	・2号機変圧器防炎用トレンチ ・消火配管トレンチ(3号機東側) ・1号機主変圧器ケーブルダクト ・1号機廃液サージタンク連絡ダクト ・1号機オフガス配管ダクト 等	1-4号機周辺	約1~830 (2018.12)	Cs-134: ND~2.3E1 Cs-137: 7.0E0~2.7E2 全β: 5.4E1~7.2E2 H-3: ND~1.7E3 (2018.11~2019.1)	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(2)「2018年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照
29	1~4号機サブドレンビット No.15,16(未復旧ビット)	・サブドレンビットNo.15,16	1~4号機周辺 「未復旧」	約20	【No.16】 Cs-134: 1.5E4 1.3E4 Cs-137: 4.1E5 3.7E5 全β: 4.6E5 4.0E5 H-3: 1.1E4 1.0E4 (2021.5.24) (2021.7.23)	
30	その他1~4号機サブドレン(ディーブウェル含む)(未復旧ビット)	・1号機~4号機サブドレン	1~4号機周辺 「未復旧」	約15/ビット	【No.47,48】 Cs-134: ND~3.9E1 Cs-137: 4.8E1~9.6E1 全β: 7.9E1~2.8E2 H-3: ND (2014.11.10)	
32	1号機放水路 (出口を閉塞済)	・1号機放水路 (出口を閉塞済)	1~4号タービン建屋海側	約4,200 (2018.12.17)	【放水路上流側立坑】 Cs-134: 2.3E2 1.5E2 Cs-137: 5.9E3 4.2E3 全β: 7.1E3 5.3E3 ND ND H-3: ND (2021.9.20)	
33	2号機放水路 (出口を閉塞済)	・2号機放水路 (出口を閉塞済)	2-4号機タービン建屋海側	約3,600 (2018.12.14)	【放水路上流側立坑】 Cs-134: 3.1E1 2.9E1 Cs-137: 7.4E2 8.3E2 全β: 9.7E2 1.1E3 ND ND H-3: ND (2021.9.20)	
34	3号機放水路 (出口を閉塞済)	・3号機放水路 (出口を閉塞済)	3-4号機タービン建屋海側	約1,600 (2018.12.17)	Cs-134: 1.8E1 2.1E1 Cs-137: 5.0E2 4.9E2 全β: 7.0E2 8.3E2 H-3: ND 1.3E2 (2021.7.7) (2021.8.11)	
35	キャスク保管建屋	・キャスク保管建屋	物揚場 西側	約4,500	Cs-134: 7.2E0 Cs-137: 2.3E1 I-131: ND Co-60: ND 全γ放射能: 3.1E1 全β放射能: - (2014.5.23)	
36	5号CSTタンク (溶接タンク)	・5号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1020 (2020.11.20) 約1040 (2021.9.27)	Cs-134: ND ND Cs-137: ND ND Co-60: 1.8E2 1.7E2 (2021.7.16) (2021.8.16)	プラント保有水を貯留
37	6号CSTタンク (溶接タンク)	・6号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1600 (2020.11.20) 約1620 (2021.9.27)	Cs-134: ND ND Cs-137: ND ND Co-60: ND 1.8E1 (2021.7.19) (2021.8.17)	プラント保有水を貯留
38	5/6号他 トレンチ	・5号機海水配管トレンチ ・5・6号機ストームドレン配管トレンチ ・5号機重油配管トレンチ(東側) ・5号機放射性流体用配管ダクト ・5号機主変圧器ケーブルダクト 等	5~6号機周辺	約1~1,900 (2015.10~2016.1)	Cs-134: ND~2.2E2 Cs-137: ND~9.9E2 (2015.10~2016.1)	
39	5, 6号機サブドレン	・5,6号機サブドレンビット	5~6号機周辺 ※「復旧対象」	約15/ビット	Cs-134: ND Cs-137: ND~3.5 全β: ND~4.8 H-3: ND~140 (採水期間: 2017.10~2018.3) <各ビット混合水> Cs-134: ND Cs-137: 4.3E-1 全β: ND H-3: 4.0E0 (2020.1.28)	
40	キャスク保管建屋サブドレン	・キャスク保管建屋サブドレン	物揚場 西側	約15/ビット	Cs-134: 1.0E+1 Cs-137: 1.4E+1 Co-60: <6.0E-01 全γ放射能: 2.4E+1 (2012.1.18)	

汚染水等構内溜まり水の状況 (2021.9.23時点)

資料3

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考	
41	SPTタンク(1~4号)(A) (溶接タンク)	・SPTタンク(1~4号)(A) (溶接タンク)	SPT建屋	約2,800 (2015.3.25時点)	Cs-134: 8.0E+4 Cs-137: 1.6E+5 Co-60: 6.5E+2 (2013.8.27)	プラント保有水等を貯留	
42	集中ラド周りサブドレン	・集中ラド周りサブドレン	主プロセス建屋等 各建屋周辺	約15/ピット	Cs-134: ND Cs-137: ND~7.7E1 (2021.8.18)	ND ND~5.2E1 (2021.9.22)	
44	純水タンクNo.1	・純水タンク	屋外(建屋エリア)	約850	Cs-134: 2.1 Cs-137: 7.2 全β: 12.2 H-3: ND (2015.5.29)	震災後、坂下ダム補給水を貯留	
45	5/6号機建屋滞留水	・5/6号機建屋滞留水	5~6号機	約7,900 (2021.6時点) 約8,900 (2021.9時点)	【5号機】 Cs-134: ND Cs-137: ND 全β: ND H-3: ND (2021.7.19) 【6号機】 Cs-134: ND Cs-137: 1.2E0 全β: ND H-3: ND (2021.7.20)	ND 7.6E-1 ND ND ND (2021.8.19) ND 2.4E0 ND ND (2021.8.20)	
46	排気筒ドレンサンピット	・1/2号排気筒ドレンサンピット	1~4号機周辺	約0.3 [*] ※適宜溜まり水の移送を実施	Cs-134: 1.0E5 Cs-137: 2.6E6 全β: 2.3E6 (2021.6.28)	4.9E4 1.2E6 1.2E6 (2021.7.29)	2019.10.12以降に水位低下傾向が見られることを確認。 (2019.11.27)
		・3/4号排気筒ドレンサンピット	1~4号機周辺	約2	Cs-134: 9.5E1 Cs-137: 1.8E3 全β: 2.3E3 (2020.12.23)		
		・5/6号排気筒ドレンサンピット	5/6号機周辺	約7.6 (2020.3.12)	Cs-134: ND Cs-137: 1.3E1 全β: 1.2E1 (2021.2.18)		
		・集中RW排気筒ドレンサンピット	1~4号機周辺	約10	Cs-134: ND Cs-137: 2.2E2 全β: 2.7E2 (2020.5.20)		
47	固体廃棄物貯蔵庫(6~8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫(6~8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫 (6~8号棟)	約200	Cs-134: ND Cs-137: 5.3E+1 全β: 4.8E+1 (2017.11.10)		
49	5号R/B西側ヤードドラム缶	ステンレス製ドラム缶(内袋付)	5号R/B西側ヤード (水素ガストレーラーエリア)	約13	Cs-134: ND Cs-137: 1.4E+1 Sr-90: ND H-3: ND 全β: 1.1E+01 Co-60: ND (2019.5.29)		

各建屋地下エリアの滞留水貯留状況

最終更新：2020/2/8
東京電力ホールディングス株式会社

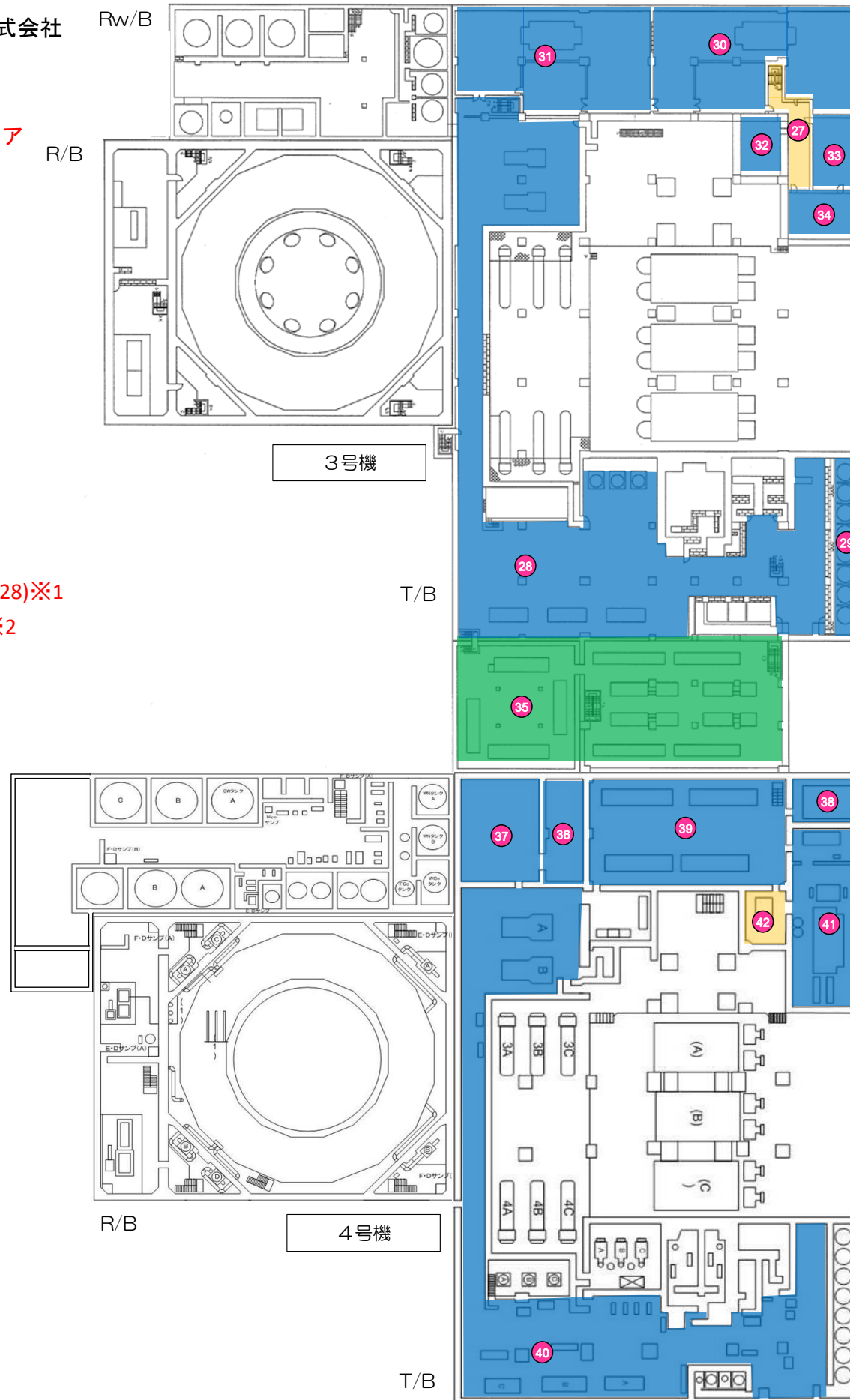
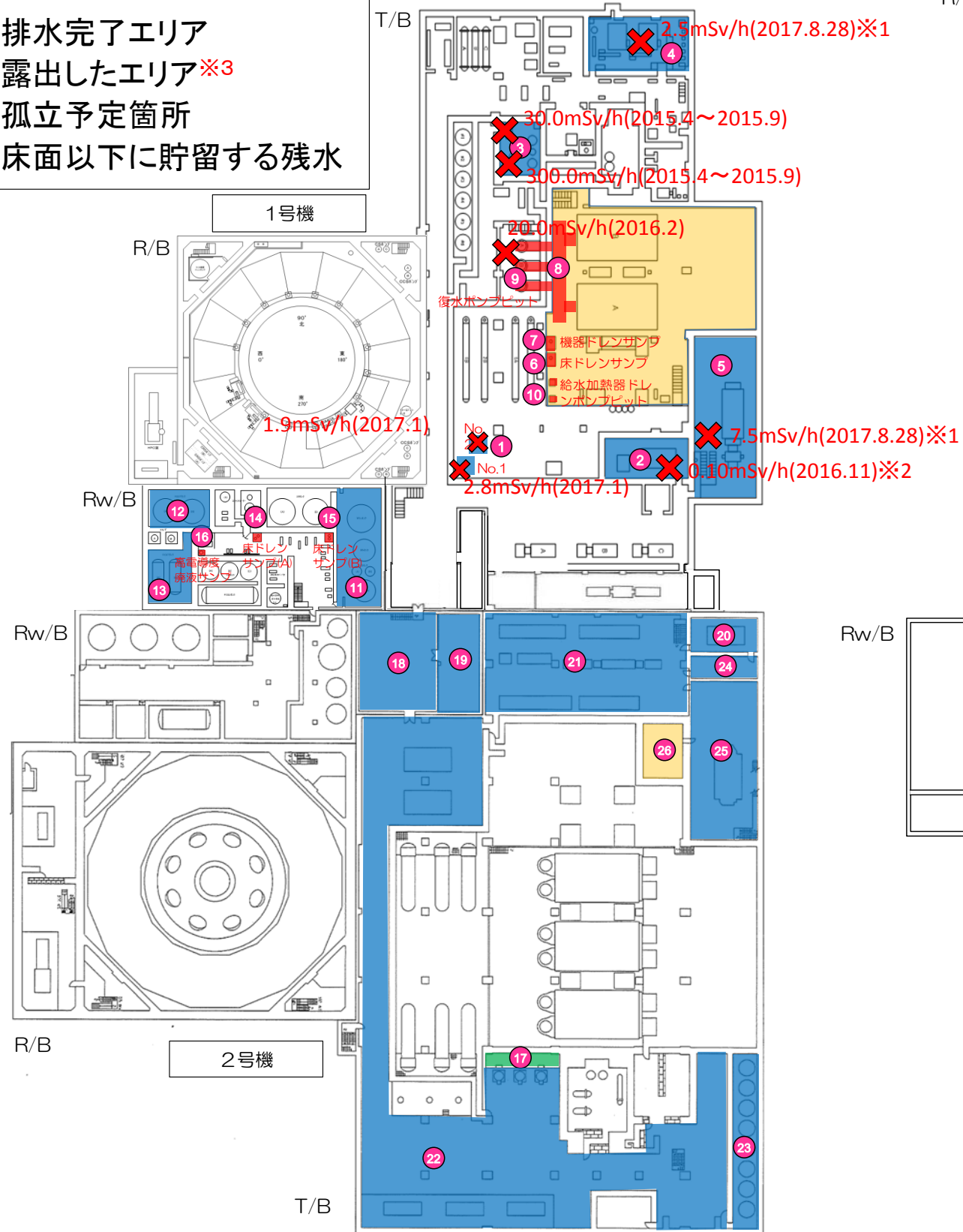
水位安定エリア等については線量測定が実施出来た場合、測定結果を記載している。

※1: 1階床面より3m程度挿入した箇所にて測定

※2: 作業エリアである1階床面で測定

※3: 孤立すると予想したエリアだが連通が確認されたため、建屋に滞留する滞留水のまま判断したエリア

- : 排水完了エリア
- : 露出したエリア※3
- : 孤立予定箇所
- : 床面以下に滞留する残水



福島第一原子力発電所における固体廃棄物について

東京電力ホールディングス株式会社
2021年10月1日

実施計画 記載箇所	大分類	小分類	保管場所	保管形態	保管量 ^{※1, 11, 12}	保管容量 ^{※1, 12}	管理方法		主要 核種
							実施内容 ^{※9}	頻度	
Ⅲ ^{※13} 第1編 39条 第2編 87条の2	瓦礫類	<ul style="list-style-type: none"> 地震、津波、水素爆発により飛散した瓦礫 フォールアウトにより汚染した設備・資機材で廃棄する物（建屋、制御盤、廃車両等） 設備の点検・工事により発生する交換品等（ポンプ、バルブ、配管、フランジタンク等） 設備運転に伴い発生する消耗品等（空調フィルタ等） 工事等のため構内に持ち込んだ消耗品（梱包材、型枠、セメント用空袋等） 回収した土壌 	屋外	・屋外集積【～0.1mSv/h】	226,300 m ³ [微減 m ³]	270,200 m ³ (291,200 m ³)	・人が容易に立ち入れないよう区画	—	Cs-137 Cs-134 等 ^{※7}
				・シート養生【～1mSv/h】	40,900 m ³ [微減 m ³]	71,000 m ³ (71,000 m ³)	・巡視を行い、容器の転倒、落下や養生シートに破れがないこと、その他異常が無いことを確認	週1回	
				・覆土式一時保管施設、容器収納【1mSv/h～30mSv/h】	17,900 m ³ [0 m ³]	24,600 m ³ (24,600 m ³)	・空間線量率を測定し表示	週1回	
			固体廃棄物貯蔵庫	・容器収納	25,700 m ³ [+200 m ³]	39,600 m ³ (64,700 m ³)	・空気中の放射性物質濃度を測定	6ヶ月に1回 ^{※2}	
				瓦礫類の合計		310,800 m ³ [+100 m ³]	405,300 m ³ (451,400 m ³)	・槽内の溜まり水の有無を確認（覆土式一時保管施設）	
	使用済保護衣等	<ul style="list-style-type: none"> タイバック 下着類 ゴム手袋 その他保護衣、保護具 	屋外	・容器収納	34,200 m ³ [+500 m ³]	68,300 m ³ (74,500 m ³)	・煙、水蒸気、濁り水（黒・茶色）、空気の揺らぎが発生していないこと（屋外集積の伐採木）	週1回 ^{※3}	
			建屋	・袋詰め					
	伐採木	<ul style="list-style-type: none"> 枝葉根 幹根 	屋外	・伐採木一時保管槽	37,300 m ³ [0 m ³]	41,600 m ³	・伐採木一時保管槽における温度監視	週1回 ^{※3}	
				・屋外集積	700 [微増 m ³]	6,000 m ³	・保管量を確認し、保管容量が確保されていることを確認	月1回	
			伐採木の合計		139,800 m ³ [+3,000 m ³]	175,600 m ³ (175,600 m ³)			
Ⅲ 第1編 40条 第2編 87条の3	水処理二次廃棄物（水処理により放射性物質を濃縮した廃棄物）	凝集沈殿物	廃スラッジ [※] 貯蔵施設	・造粒固化体貯槽【除染装置】	442 m ³ [0 m ³]	700 m ³	・免震重要棟にて液位を監視し、漏えいの有無を監視	常時	Cs-137 Cs-134 Sr-90等
			使用済セシウム吸着塔一時保管施設	・HIC【多核種除去設備、増設多核種除去設備】（最大約13mSv/h）	3,857 本 [+14 本]	4,192 本	・人が容易に立ち入れないよう区画	—	
		・HIC【多核種除去設備、増設多核種除去設備】（最大約23mSv/h）				・空間線量率を測定し表示	—		
		・吸着塔【第二セシウム吸着装置、第三セシウム吸着装置、高性能多核種除去設備、RO濃縮水処理設備】（最大約1.2mSv/h）		378 本 [+1 本]	584 本	・巡視を行い、コンクリート製ボックスカルバート等に異常が無いことを確認	—		
		・処理カラム【多核種除去設備】（最大約0.2mSv/h）							
		・吸着塔【セシウム吸着装置、モバイル式処理装置、モバイル型Sr除去装置、第二モバイル型Sr除去装置、サブドレン他浄化装置、高性能多核種除去設備検証試験装置】（最大約250mSv/h）		974 本 [+1 本]	1,596 本	・貯蔵量を確認し、貯蔵可能容量が確保されていることを確認	週1回		
		フィルタ	容器収納【モバイル型Sr除去装置】（最大約0.5mSv/h）						
			屋外	・容器収納【高性能多核種除去設備、RO濃縮水処理設備】（最大約0.5mSv/h）	瓦礫類に含む		瓦礫類と同様	—	
			固体廃棄物貯蔵庫	・容器収納【サブドレン他浄化装置】 ・容器収納【雨水処理設備等】（1mSv/h未満）					
		RO装置のフィルタ類	屋外	・容器収納【SFP塩分除去装置】（最大十数mSv/h）	瓦礫類に含む		瓦礫類と同様	—	
樹脂	固体廃棄物貯蔵庫	・容器収納【SFP塩分除去装置】（最大十数mSv/h） ・容器収納【雨水処理設備等】（最大2mSv/h）	瓦礫類に含む		瓦礫類と同様	—			

福島第一原子力発電所における固体廃棄物について

東京電力ホールディングス株式会社
2021年10月1日

実施計画 記載箇所	大分類	小分類	保管場所	保管形態	保管量 ^{※1, 11, 12}	保管容量 ^{※1, 12}	管理方法		主要 核種
							実施内容 ^{※9}	頻度	
Ⅲ 第1編 38条 第2編 87条	放射性固 体廃棄物 等	・震災前に発生した放射性固体廃棄物	固体廃棄 物貯蔵庫	・ドラム缶収納	ドラム缶 175,661 本	ドラム缶 (約318,500本相 当)	・巡視による保管状況の確認及び保管量 の確認	月1回	Co-60 等
				・その他	ドラム缶 10,155 本				
		・震災後に発生した放射性固体廃棄物 (焼却灰等)	サイトバ ンカ	・ドラム缶収納	2,456 本 [+3 本]	—	・事故前の保管量の推定値により確認	3ヶ月に1 回	
		・使用済制御棒等		・水中保管	12,125 本 193 m ³ ^{※4}		・プール水位の確認	月1回	
		・イオン交換樹脂、造粒固化体	タンク等	・タンク等に貯蔵	3,543 m ³ ^{※5}	—	・貯蔵量の確認 ^{※8}	3ヶ月に1 回	
・使用済制御棒等	使用済燃 料プール	・水中貯蔵	11,422 本 ^{※6}	—	・貯蔵状況の確認 ^{※8}	タンクに より異なる			
— ^{※10}	瓦礫等 ^{※13}	・回収した土壌	—	・シート養生、容器収納、雨水等侵入防止養生	—	19,800 m ³ [+9,600 m ³]	・人が容易に立ち入れないよう区画 ・空間線量率を測定し表示	—	Cs-134 Cs-137 等
		・回収した土壌以外の瓦礫等	屋外	・屋外集積、シート養生、容器収納、雨水等侵入防止養生	—	61,000 m ³ [-100 m ³]			
			建屋	・屋内集積、シート養生、容器収納、雨水等侵入防止養生	—	1,100 m ³ [+200 m ³]			
	水処理二 次廃棄物	・樹脂、ゼオライト、RO膜等	—	・容器収納、容器収納の上 シート養生	—	200 m ³ [0 m ³]			Cs-137 Cs-134 Sr-90等
仮設集積の合計					—	82,100 m ³ [+9,600 m ³]			

- ※1 瓦礫類、使用済保護衣等、伐採木、仮設集積物、震災後に発生した放射性固体廃棄物（焼却灰等）は2021年7月30日現在、水処理二次廃棄物は2021年9月2日現在の保管量及び保管容量である。尚、瓦礫類、使用済保護衣等及び伐採木の下段に（ ）で記載している保管容量は、実施計画（2021年7月27日認可）に記載している保管容量である。
- ※2 屋外集積及びシート養生の瓦礫類、使用済保護衣等、並びに屋外集積の伐採木は、3ヶ月に1回。
- ※3 6月～9月は、1週間に3回。
- ※4 2021年3月末時点の保管量。内訳は、制御棒：1,167本、チャンネルボックス：9,818本、ヒューエルサポート：3本、中性子検出器：1,137本、その他（シュラウド切断片等）：193m³。
- ※5 2021年3月末時点の保管量。内訳は、イオン交換樹脂：2,395m³、造粒固化体：1,148m³。
- ※6 2021年3月末時点の保管量。内訳は、制御棒：281本、チャンネルボックス：10,539本、ポイズンカーテン：173本、ヒューエルサポート：54本、中性子検出器：375本。
- ※7 廃棄物の処理・処分に必要となる、廃棄物の性状把握のため、汚染水、瓦礫類、伐採木及び立木について、放射能濃度分析を実施しており、今後も継続する。分析した試料の中には、C-14（半減期：約5.7×10³年）、Ni-63（半減期：約1.0×10²年）、Se-79（半減期：約1.1×10⁶年）、Tc-99（半減期：約2.1×10⁵年）、I-129（半減期：約1.6×10⁷年）等が検出されているものがある。
- ※8 1～4号機廃棄物処理建屋等の水没や高線量の理由によりアクセスできないタンクについてはこの限りではない。
- ※9 アンダーラインの実施内容は、実施計画（2021年7月27日認可）に未記載。
- ※10 仮設集積しているのは、伐採木、土壌、水処理二次廃棄物等であり、QJ-54・1F-R5-002 瓦礫等管理要領に基づき、ロープや柵等の区画を行い、立ち入りを制限する標識を掲示する措置を講じている。また、保管量については集積する最大の量である。
- ※11 []は、前回報告値との差を示している。
- ※12 一部の値について端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。また、50m³未満の増減を微増・微減と示している。
- ※13 瓦礫等の記載については、廃棄物管理の適正化の検討を踏まえて、今後見直す

ガレキの保管量の現状（2021年7月30日時点）※8

屋外集積（0.1mSv/h以下）対象エリアの保管量※7

受入目安表面線量率 (mSv/h)	エリア名称	保管容量※1、4 (m ³)	保管量※1 (m ³)	前回比※2 (m ³)
≤0.001	AA	36,400	18,100	+200
≤0.005	A2	9,500	—※5	—※5
	J	8,000	6,200	0
≤0.01	A1	4,300	—※5	—※5
	B	5,300	5,300	0
	C	31,000	31,000	0
≤0.025	C	35,000	34,800	-200
≤0.028	U	800	700	0
≤0.1	C	1,000	1,000	0
	F2	7,500	6,400	0
	N	10,000	9,600	0
	O	51,400	44,000	0
	P1	64,000	62,600	0
	V	6,000	6,000	0
合計		270,200	226,300※6	微減

2022年3月末瓦礫類想定発生量※3 (m³) 262,200

シート養生（1mSv/h以下）対象エリアの保管量※7

受入目安表面線量率 (mSv/h)	エリア名称	保管容量※1、4 (m ³)	保管量※1 (m ³)	前回比※2 (m ³)
≤0.3	D	4,500	2,600	0
≤1	E1	16,000	14,600	0
	P2	9,000	5,900	0
	W1	23,000	9,900	0
	W2	6,300	0	微減
	X	12,200	7,900	0
合計		71,000	40,900	微減

2022年3月末瓦礫類想定発生量※3 (m³) 73,700

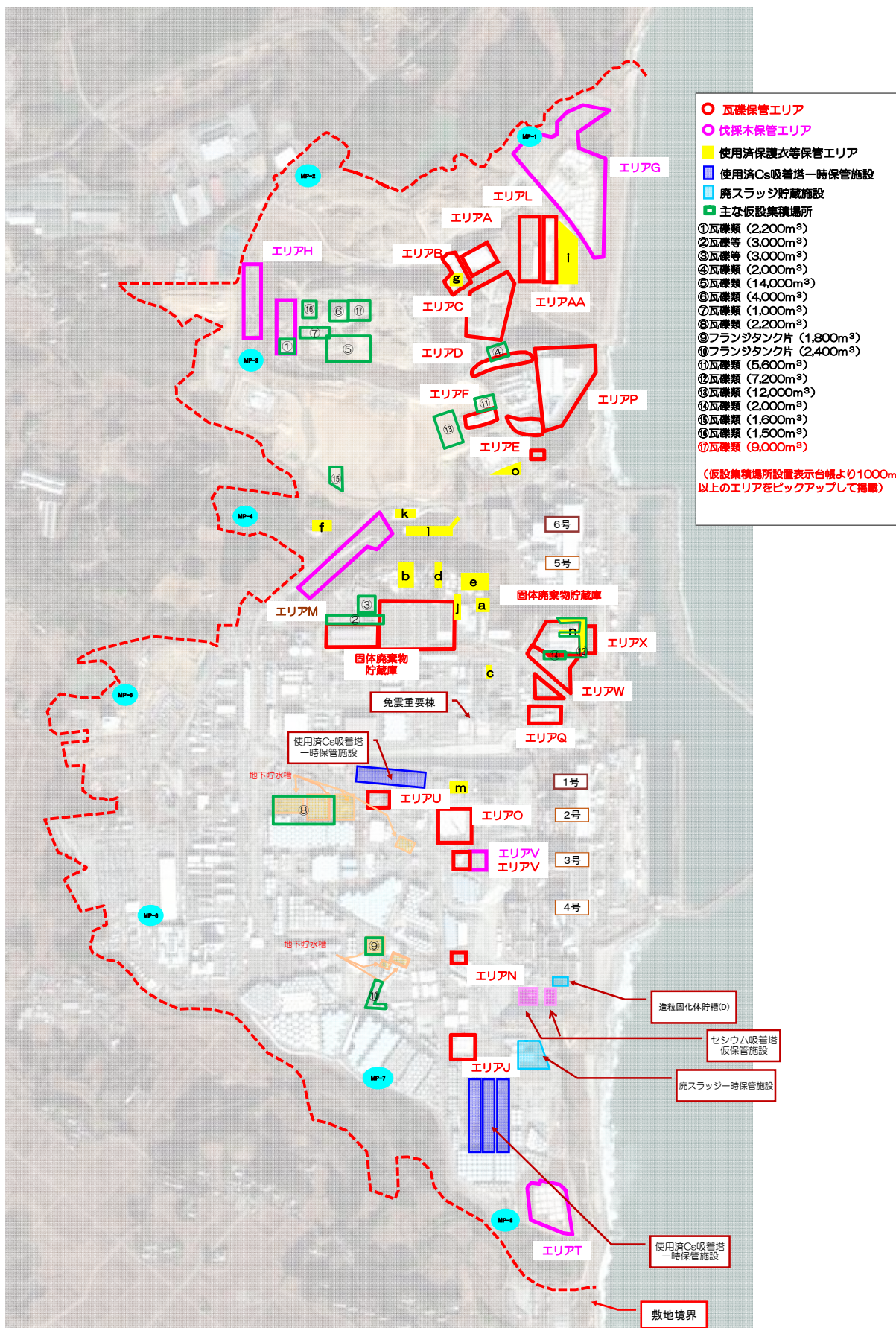
30mSv/h以下対象エリアの保管量※7

受入目安表面線量率 (mSv/h)	エリア名称	保管容量※1、4 (m ³)	保管量※1 (m ³)	前回比※2 (m ³)
≤5	Q	6,100	0	0
≤10	F1	700	600	0
	E2	1,800	1,200	0
≤30	L	16,000	16,000	0
合計		24,600	17,900	0

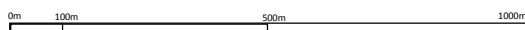
2022年3月末瓦礫類想定発生量※3 (m³) 33,000

- ※1 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
- ※2 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは50m³未満の増減を示す。
- ※3 瓦礫類の保管量（想定）は、実施計画（2021年7月27日認可）の予測値を示す。
- ※4 瓦礫類の保管容量は、運用上の上限を示す。
- ※5 エリアA1及びA2は低線量エリアとした（2020年1月6日認可）が、移行期間のため「—」と記載。
- ※6 エリアA1及びA2は1～30mSv/hの瓦礫類を仮設集積中。合計値には、この仮設集積分を含む。
- ※7 各受入目安線量率において、固体廃棄物貯蔵庫の保管量は除いて記載。
- ※8 瓦礫等の記載については、廃棄物管理の適正化の検討を踏まえて、今後見直す

福島第一原子力発電所 固体廃棄物等保管エリアの構内配置図



提供：日本スペースイメージング（株）、©DigitalGlobe



実施計画記載期限に関わる進捗状況について

2021年 10月 1日

東京電力ホールディングス株式会社

雨水処理設備等の先行運用について

■ 雨水処理設備等の先行運用について

- 現在、雨水処理設備等の一部は先行運用中であり、本設備の設置完了目途については、実施計画【2020年 7月 8日認可版】にて、以下のように予定している。

設備		設置完了目途
雨水移送ライン	実施計画の変更認可 (2018年5月) 範囲	設置完了
	実施計画の変更認可 (2018年5月) から 設計変更または新設する範囲	設置完了 (2019年度設置計画分) タンクエリア設置完了後1年以内目途
	実施計画の変更認可 (2019年7月) から 設計変更または新設する範囲	タンクエリア設置完了後1年以内目途
雨水RO濃縮水移送ライン		2020年度中※1

※1 淡水化处理RO膜装置雨水受入タンクから雨水RO濃縮水受入タンクまでの雨水RO濃縮水移送ラインについては、配管布設距離が非常に長く、新設タンクエリア設置等の多くの工事と干渉するので、設置時期が2020年度中となる。また、先行運用範囲外のモバイルRO膜装置雨水受入タンクから雨水RO濃縮水受入タンクまでの雨水RO濃縮水移送ラインの設置時期は、2018年度に設置完了している。

雨水処理設備等の先行運用について

項目		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度	
		上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
雨水移送ライン	実施計画の変更認可（2018年5月）範囲 （2018年度設置完了）	設置完了済 【D, H1, K1北, K1南, K2, G3東, G3西（G7）, G5, J8, J9, H1東, H2, K3, K4, B南, G4北】							
	実施計画の変更認可（2018年5月）から設計変更または新設する範囲 （2019年度中設備設置予定）			タンク設置完了後に順次設置予定 【H3, H4北, H4南, H6（I）, G1南, G3北】 （2019年度中設備を設置）					
	実施計画の変更認可（2018年5月）から設計変更または新設する範囲 （タンク設置完了後1年以内目途に設備設置予定）			タンク設置完了後に順次設置予定 【B, G6, H5, H6（II）】 （タンクエリアの設置完了後1年以内目途に設備を設置）					
	実施計画の変更認可（2019年7月）から設計変更または新設する範囲 （タンク設置完了後1年以内目途に設備設置予定）					タンク設置完了後に順次設置予定 【G1, G4南】 （タンクエリアの設置完了後1年以内目途に設備を設置）			
雨水RO濃縮水移送ライン							実施計画変更予定 （雨水RO濃縮水移送ライン設置不要）		■■■■■

雨水処理設備等の先行運用について

本設設備設置時期（予定）

▼：タンク設置完了時期（堰含む）

□：計画

■：実績

ケース①	設置時期	タンク設置完了時期（堰含む）	対象エリア		2019年度		2020年度		2021年度	
			タンク堰	雨水回収タンク	上期	下期	上期	下期	上期	下期
タンクリプレース工事に伴う新設の汚染水タンク運用開始と同時に堰内雨水を処理する必要があり、PE管敷設が完了するまで先行運用が必要。	実施計画の変更認可（2018年5月）から設計変更または新設する範囲のうち、2019年度中設備設置予定	2019.9	H6(I)	H6(I)		▼				
		2019.6	H4北	H6(I)	▼					
		2019.8	H4南	H6(I)	▼					
		2019.8	H3	H1-1	▼					
		2019.4	G1南	G3西-D7	▼					
		—	G3北	G3西-D7			G4北解体に伴うリルート			
	実施計画の変更認可（2018年5月）から設計変更または新設する範囲のうち、タンク設置完了後1年以内目途に設備設置予定	2020.4	H5	H6(I)			▼			
		2020.4	H6(II)	H6(I)			▼			
		2019.10	B	B		▼				
		2020.4	G6	B			▼			
	実施計画の変更認可（2019年7月）から設計変更または新設する範囲のうち、タンク設置完了後1年以内目途に設備設置予定	2021.3	G1	B					▼	
		2021.3	G4南	B					▼	

本設設備設置中

高性能ALPSサンプルタンクの 水移送について

2021/ 9/ 30

TEPCO

1. 高性能ALPSサンプルタンクの水移送について

【経緯】

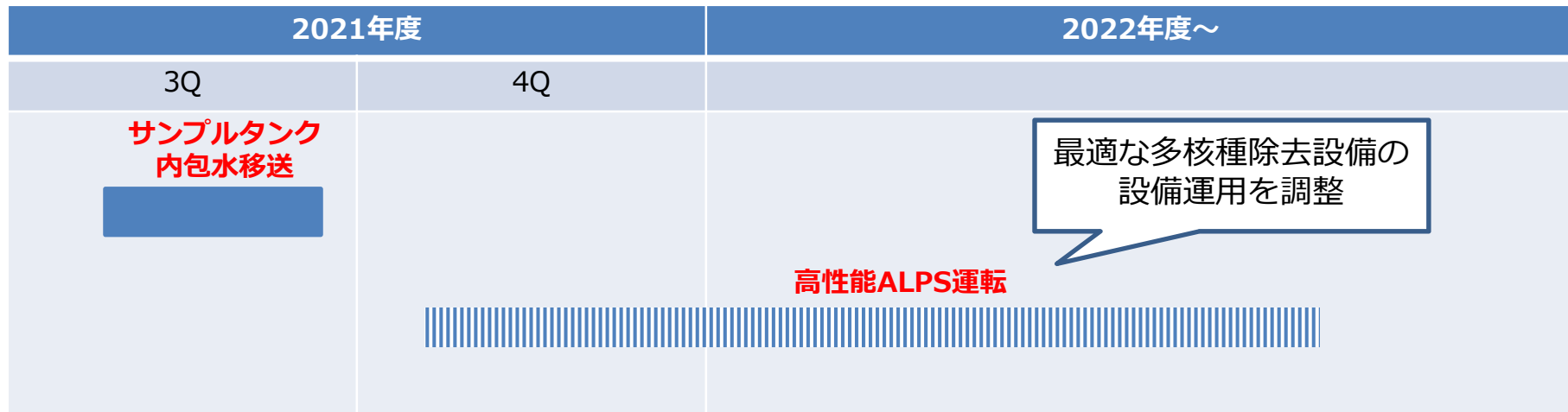
- 1Fの多核種除去設備（ALPS）は、既設ALPS（2013年3月～）・増設ALPS（2014年9月～）高性能ALPS（2014年10月～）の3設備がある。 ※括弧内時期は各設備の運用開始時期を示す。
- これまで日々発生する汚染水に対しては、処理量の大きさ・調整のし易さの観点等から、増設ALPS・既設ALPSを稼働させ、高性能ALPSは待機としてきた。
- 今後は二次処理が発生する等、最適な設備運用を行うため、高性能ALPSを適宜稼働させる。

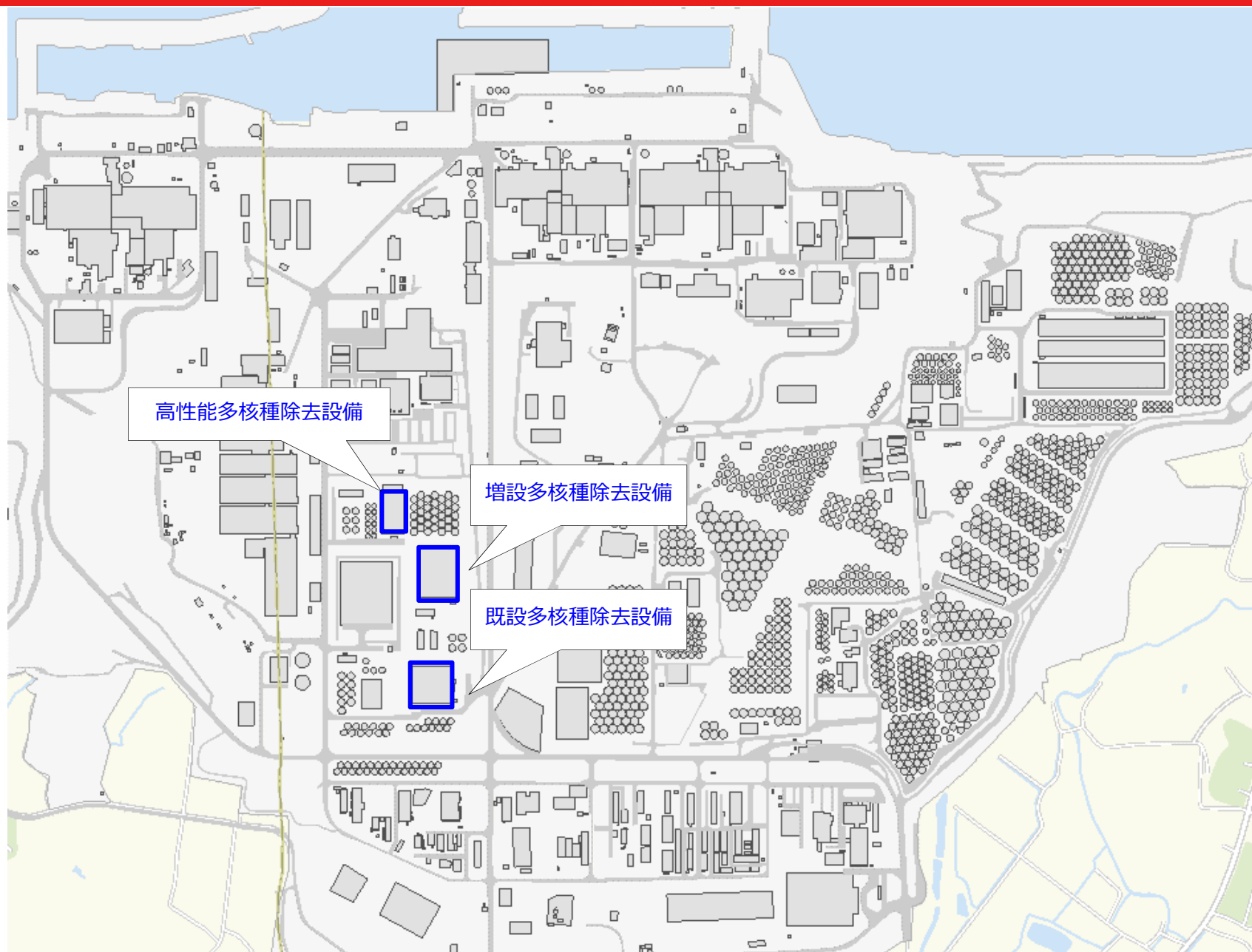
【準備作業】

- 高性能ALPSの稼働に向けては、高性能ALPSサンプルタンクに貯留されてるALPS処理水等（告示濃度比2程度）を事前に貯蔵タンク*に移送（約3,200m³）させる予定。

* 移送に伴い、処理水ポータルサイト「告示濃度比総和別（推定）貯蔵量」に反映予定

【高性能ALPSサンプルタンク水移送スケジュール】





Eエリアタンク(フランジ型タンク)の 残水から検出されたアルファ核種の対応方針について

2021年9月30日

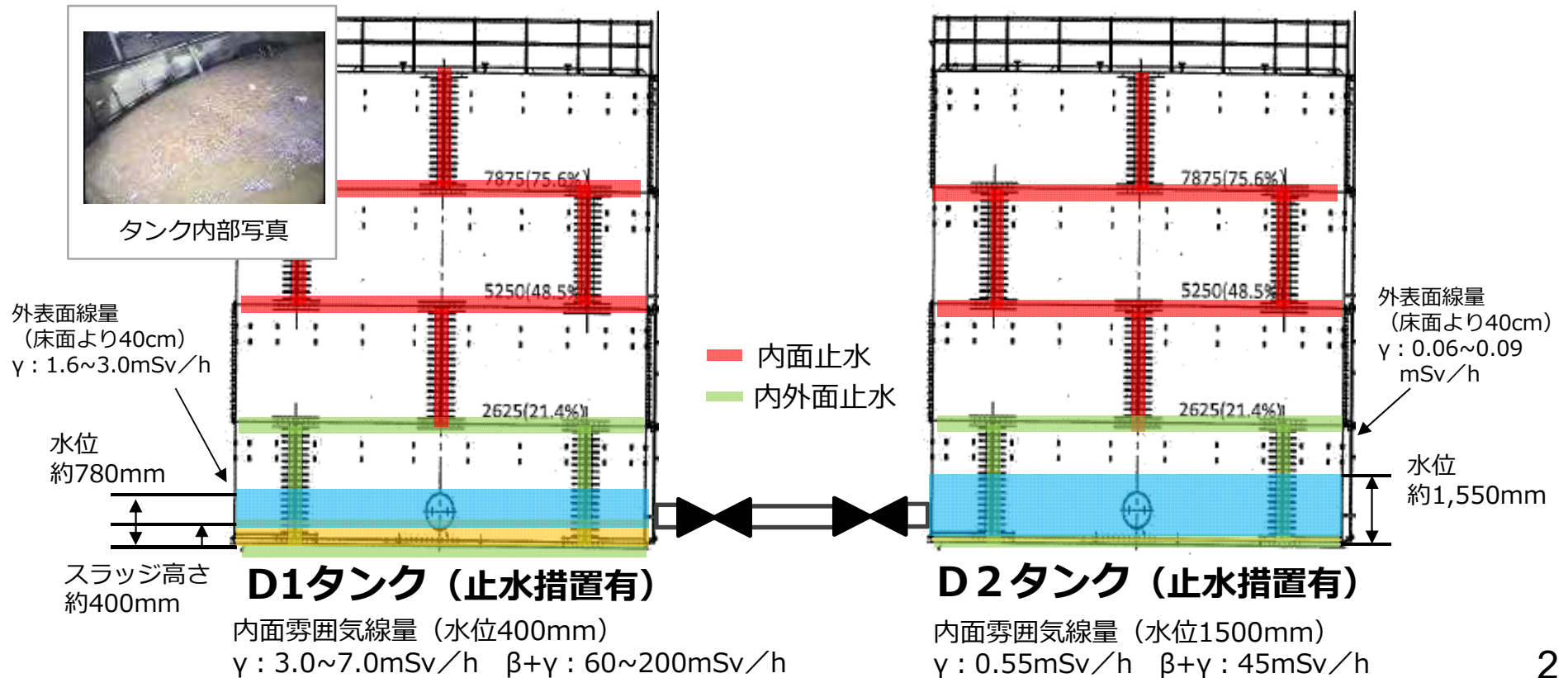
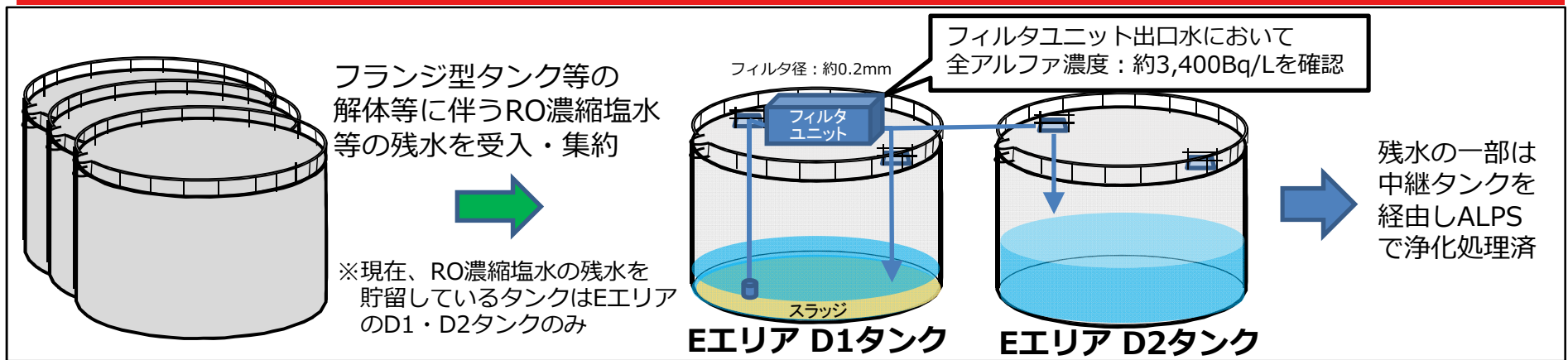


東京電力ホールディングス株式会社

1. 概要

- Eエリアではフランジ型（組立型）タンクの解体作業を進めており(42/49基完了：7月時点)、現在、D1・D2タンク2基の残水(水・スラッジ)処理を実施中。この水（計約300m³/7月時点）は、各エリアからタンク解体時の底部残水（RO濃縮塩水※等）を受け入れたもので、放射性物質（Sr90）の濃度が高い。その為、タンク内作業が出来る濃度になるまで、フィルタにてスラッジを捕集していた。
 - ※ 事故後初期、汚染水からセシウム吸着装置でセシウム134・同137のみを除去処理した水を、逆浸透膜(RO)装置で処理・濃縮した水。当時のセシウム吸着装置ではα-核種であるトリチウム90が除去対象外であり、全β-核種の濃度が高い。RO濃縮塩水は2015年5月に処理完了。
- 安全に解体作業を進める観点からD1タンク内の残水（1月28日採取）の放射能濃度を測定したところ、**アルファ核種（全アルファ）の濃度が建屋内滞留水と同程度**であることを確認。
 - ・ 残水(フィルタユニット出口水)の濃度(スラッジ含む)：全アルファ約3.4×10³ Bq/L、全ベータ約5.2×10⁸ Bq/L（6月23日測定）
 - <参考> 残水(フィルタユニット出口水)のろ過後の濃度：全アルファ約4.7×10¹ Bq/L、全ベータ約1.5×10⁸ Bq/L（6月23日測定）
 - 原子炉建屋内滞留水の全アルファの濃度：約1×10¹～1×10⁵ Bq/L程度
- アルファ核種は主に粒子状で存在するため、RO濃縮塩水等を貯留していたタンク解体に伴い、タンク底部の残水をD1・D2タンク（止水措置有）に集めたことで、スラッジが沈降し、当該タンク底部における残水の全アルファの濃度が高くなったものと推定。
- D1・D2タンクの水については、2020年10月～11月にかけて、一部（約270m³）をフィルタでろ過した後、中継タンクに移送し、日々発生する水（Sr処理水）と併せてALPS処理を実施。当該中継タンクの水のALPS処理開始以降、ALPS入口水（既設/増設）で全アルファ濃度が比較的高い（10Bq/L程度）傾向が確認されているが、**ALPS処理開始以降も、ALPS出口水における全アルファの濃度は検出限界値未満（N.D.）であり、ALPSでアルファ核種を検出限界値未満まで除去できていることを確認。**
- 同エリアでの作業は適切な防護装備で実施しており、身体汚染および内部取込みは確認されていない。また、D1・D2タンク周辺のダストモニタに有意な変動はなく、周辺環境への影響もない。
- 今回、D1タンク内の残水から建屋内滞留水と同程度の濃度の全アルファを確認したことから、**当該残水の漏えい・ダスト飛散のリスク低減対策を実施中**。今後の残水処理およびタンク解体においては、汚染拡大防止措置、隔離措置等を徹底したうえで、慎重に実施していく。

2. Eエリア D1・D2タンクの状況



今後の対応方針①

■ スラッジ回収作業の長期化を見据えたフランジタンクへの対策

<ダスト飛散対策>

- ベント管へのHEPAフィルタ取付（実施済）、ダスト定期測定

<漏えい防止対策> <漏えい拡大防止策>

- フランジ部への止水材上塗り（実施済）
- タンク内の上澄み水を2021年10月からプロセス主建屋に移送予定

今後の対応方針②

■ 他エリアタンクの分析（アルファ核種検出確認）

<水質分析対象タンク群>

- アルファ核種は、タンク底部の残渣に起因した事象と考えており、残渣発生の推定要因は、既設ROの凝集沈殿物もしくは、震災直後のRO濃縮水（濃縮塩水）・濃縮廃液と考えられる。
- その為、既設ROの濃縮水（Sr処理水等）を繰返し受入れているタンク群及び震災直後のRO濃縮水（濃縮塩水）・蒸発濃縮装置の濃縮廃液を貯留した履歴のあるタンク群について、2021年10月から水質分析を行う予定

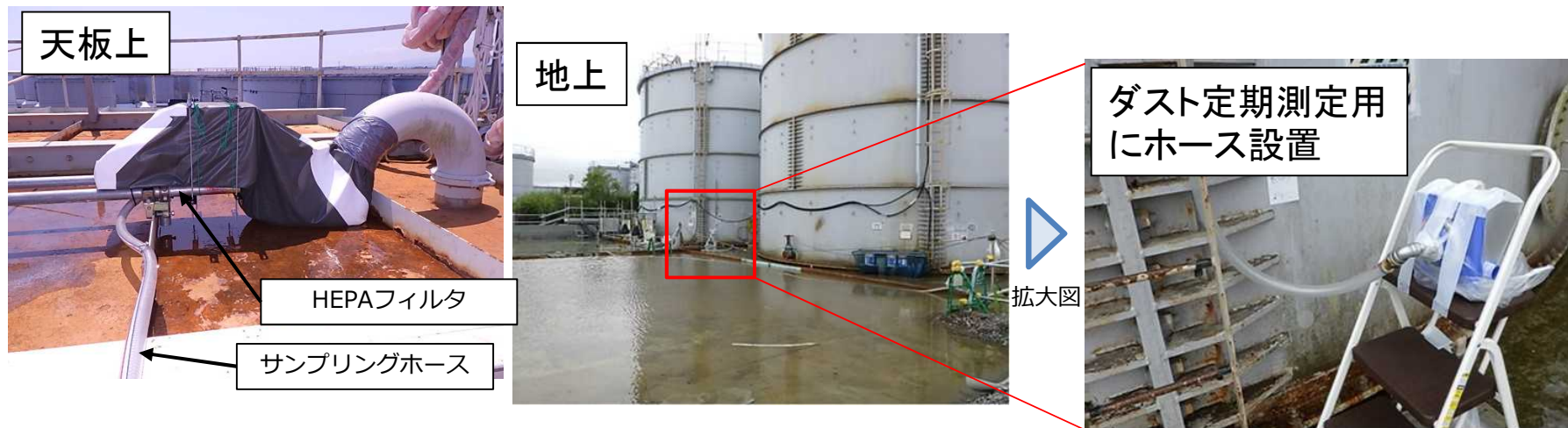
<表面汚染検査（以下：スミア測定）対象タンク群>

- RO濃縮水貯槽から多核種処理水貯槽への用途変更を検討しているタンク（以下：再利用タンク）について、必要な対策（隔離措置等）を確認するために、除染作業前にスミア測定による調査を行う（実施中）

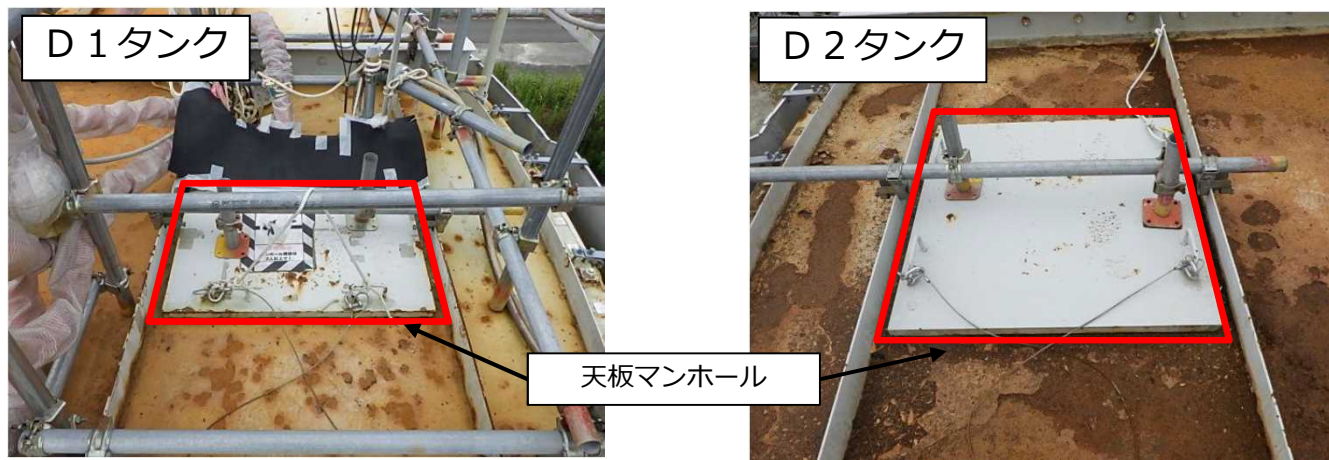
【今後の対応方針①】
スラッジ回収作業の長期化を見据えた
フランジタンクへの対策実施

1. ダスト飛散対策について

- ダスト飛散対策：ベント管への高性能フィルタ（以下：HEPAフィルタ）取付及びダスト定期測定



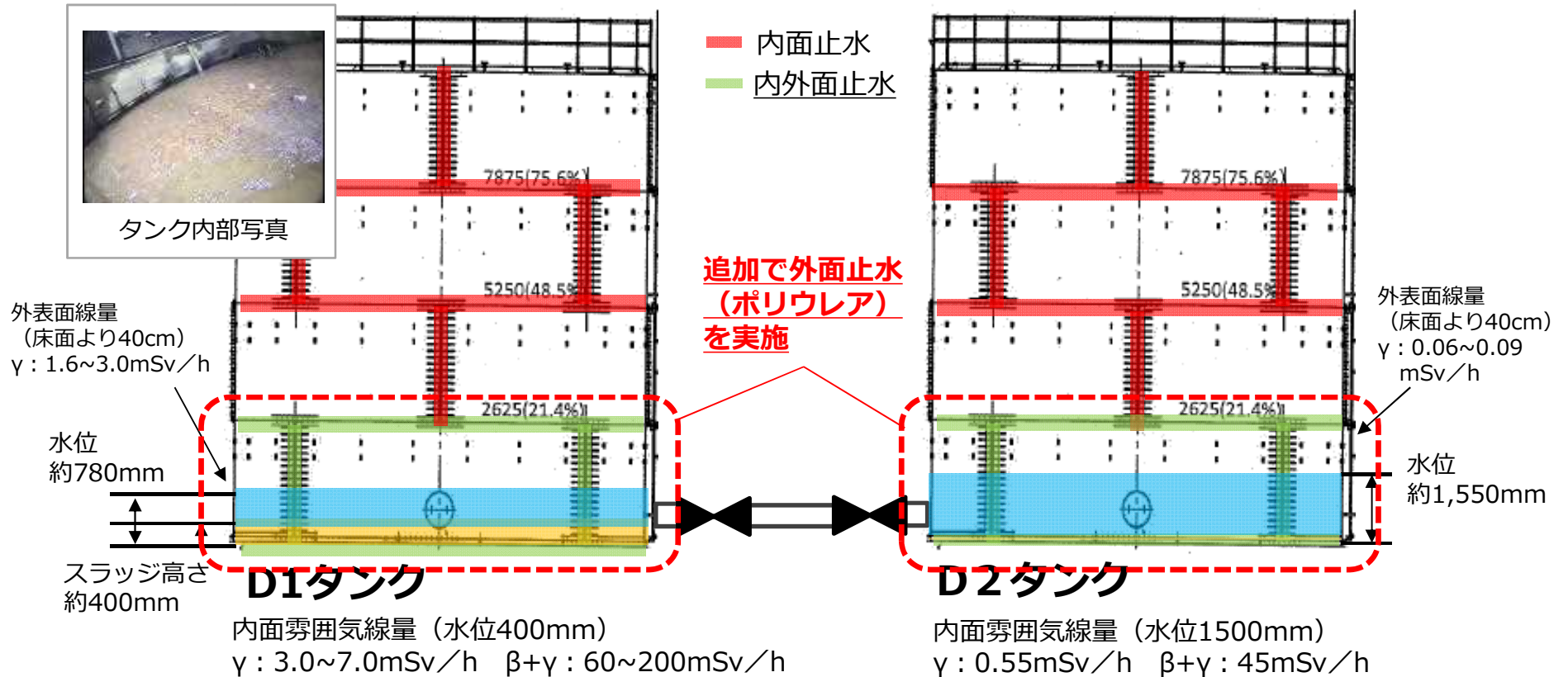
■ 上部マンホールの固定（実施済）



足場パイプで天板マンホール固定済

2. 漏えい・拡大防止対策について (1 / 2)

- 漏えい・拡大防止対策：フランジ部への止水材上塗り。
 - 1段目のフランジ部については、施工時（2014年度）の内外面の止水に加え追加で止水材の上塗り（ポリウレア）を実施済。
 - タンク底部については、施工時（2014年度）にモルタルによる止水施工実施済。

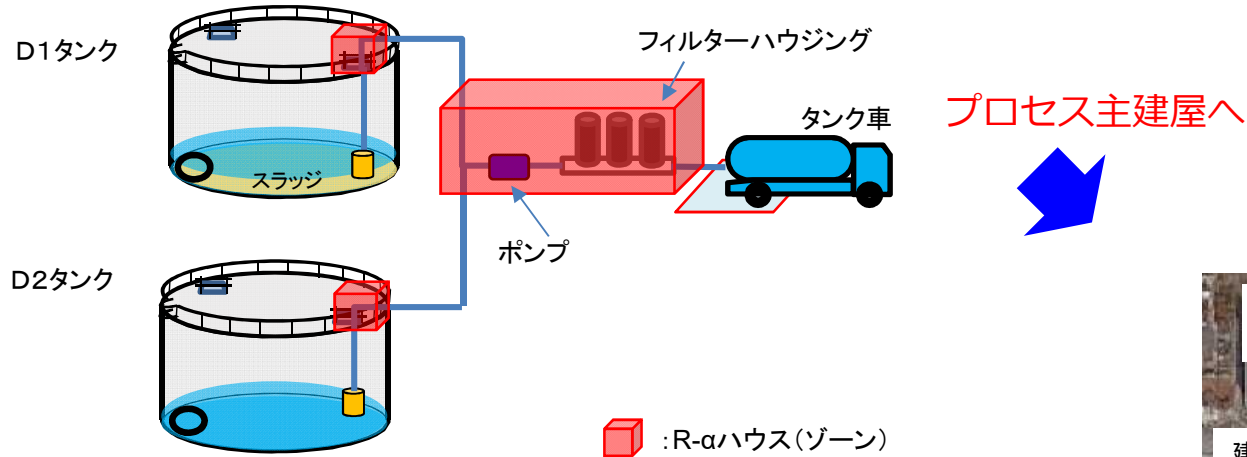


2. 漏えい・拡大防止対策について (2 / 2)

- 漏えい・拡大防止対策：タンク内の上澄み水をプロセス主建屋に移送予定。

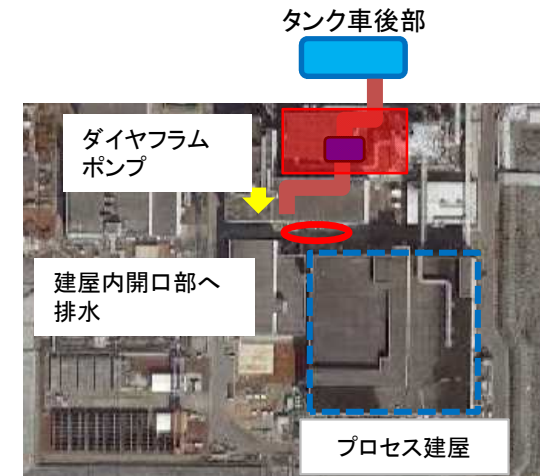
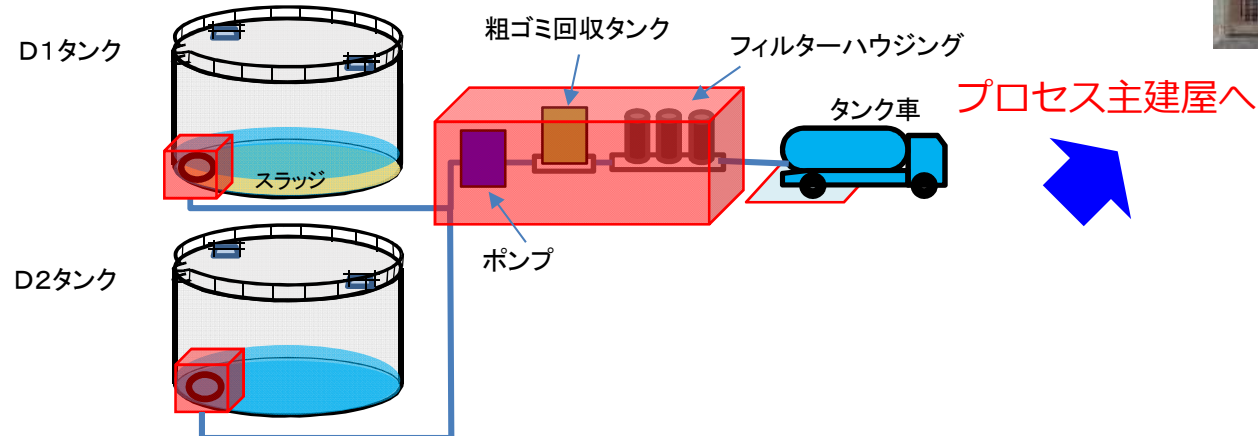
(STEP 1)

天板マンホールから水中ポンプを投入（側板マンホール高さまで水抜き）
タンク車へ移送。



(STEP 2)

側マンホールから移送ホースを投入（側板マンホール高さ以下を水抜き）
バキュームポンプで残水をタンク車へ移送。



【参考】D1・D2タンク通気管ダスト測定結果（7/13、14採取）

- D1・D2タンク上部の通気管内面及び床面の表面汚染密度測定を実施し、**全アルファについて検出下限値未満**を確認
- 空气中放射性物質濃度の全アルファはHEPAフィルタ設置前後において、**検出下限値未満**を確認
全ベータはHEPAフィルタ設置前は**-6乗オーダー**、HEPAフィルタ設置後は**検出限界値未満**を確認
- 採取日：2021年7月13日、14日
- 採取箇所：D1・D2タンク 通気管出口近傍及びHEPAフィルタ近傍

【表面汚染密度測定結果】

測定対象	採取箇所	全ベータ 表面汚染密度 [Bq/cm ²]	全アルファ 表面汚染密度 [Bq/cm ²]
D1タンク	通気管内面 ①	9.4E-01	<1.3E-01
	床面 ②	4.3E-01	<1.3E-01
D2タンク	通気管内面 ①	5.4E-01	<1.3E-01
	床面 ②	<3.9E-01	<1.3E-01

【空气中放射性物質濃度測定結果】

測定対象	採取箇所	全ベータ ダスト濃度 [Bq/cm ³]	全アルファ ダスト濃度 [Bq/cm ³]
D1タンク	フィルタ設置 前	3.8E-06	<5.3E-07
	フィルタ設置 後	<1.6E-06	<5.3E-07
D2タンク	フィルタ設置 前	7.4E-06	<5.3E-07
	フィルタ設置 後	<1.6E-06	<5.3E-07

※サンプリング時間：55分
(測定は天然核種の影響を考慮して翌日実施)



HEPAフィルタ設置前

※丸数字はスミア採取箇所



HEPAフィルタ設置後

※写真はいずれもD2タンクで撮影

【参考】 D1・D2タンク通気管ダスト測定結果（定期測定）

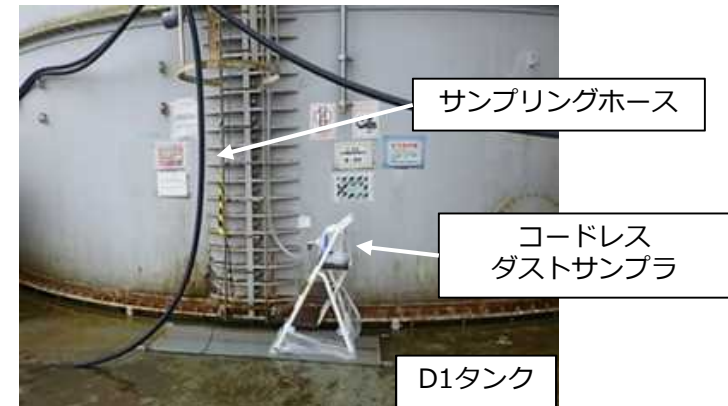
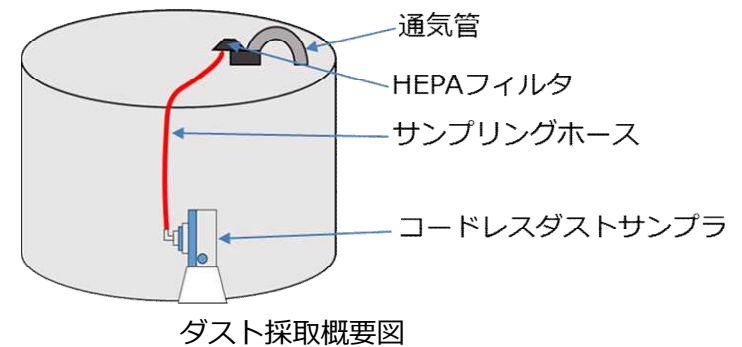
9

- 定例モニタリングで測定した空气中放射性物質濃度（全アルファ、全ベータ）は、有意な上昇は見られていない
 - 採取箇所：D1・D2タンクHEPAフィルタ近傍

【空气中放射性物質濃度測定結果】

採取日	D1タンク		D2タンク	
	全ベータ ダスト濃度 [Bq/cm ³]	全アルファ ダスト濃度 [Bq/cm ³]	全ベータ ダスト濃度 [Bq/cm ³]	全アルファ ダスト濃度 [Bq/cm ³]
2021年8月12日	6.6E-06	<4.9E-07	<1.2E-06	<4.9E-07
2021年9月16日	<1.5E-06	<5.5E-07	<1.5E-06	<5.5E-07

※サンプリング時間：60分
（測定は天然核種の影響を考慮して翌日実施）



定例モニタリング実施状況

3. スケジュール

対象	項目	9月	10月	11月	12月
ダスト飛散対策	HEPAフィルタ 取付 (済)				
	フィルタ出口 ダスト測定	実施 (継続)			
	上部 マンホールの 固定 (済)				
漏えい・拡大防止 対策	フランジ部 止水	実施中			
	タンク上澄み 水移送 (STEP1)		実施予定		
	タンク上澄み 水移送 (STEP2)				実施予定

【今後の対応方針②】
他エリアタンクの水質分析（α核種検出確認）

- 建屋滞留水と同程度のアルファ核種検出は、タンク底部の残渣に起因した事象と考えており、残渣発生の推定要因は、既設ROの凝集沈殿物もしくは、震災直後のRO濃縮水（濃縮塩水）・濃縮廃液と考えられる。
- その為、既設ROの濃縮水（Sr処理水等）を繰返し受入れているタンク群及び震災直後のRO濃縮水（濃縮塩水）・蒸発濃縮装置の濃縮廃液を貯留した履歴のあるタンク群について、2021年10月からSTEP1の水質分析を行う予定。順次STEP2についても水質分析を行う予定。

<既設ROの濃縮水を繰返し受入れているタンク群>（STEP1）

対象タンク群		内容
①	H8-A群	RO濃縮水（Sr処理水等）の運用タンク（現在） EエリアD1・D2タンクの残水の受入れ
②	H8-B群	RO濃縮水（Sr処理水等）の運用タンク（過去）
③	D-B,C群	RO濃縮水（Sr処理水等）の運用タンク（現在）

<震災直後のRO濃縮水（濃縮塩水）・蒸発濃縮装置の濃縮廃液を貯留した履歴のあるタンク群>（STEP2）

対象タンク群		内容
④	J1-A,C,G群 G3-D群	震災直後のRO濃縮水（濃縮塩水）⇒RO濃縮水（Sr処理水等） ⇒ALPS処理水等
⑤	D-A群 H2 C	震災直後に運用していた蒸発濃縮装置の濃縮廃液を貯留

2. スミア測定対象タンク群

- 再利用タンクについて、必要な対策（隔離措置等）を確認するために、除染作業前にスミア測定による調査を行う（実施中）対象としては、G3-E,F群及びH8-B群について実施。

<再利用タンク群>

対象タンク群		内容
①	G3-H群 K2-B,C,D群	ALPS処理水等貯留済
②	K1-C,D群 K2-A群 G3-G群	ALPS処理水等貯留中（貯留予定）
③	G3-E,F群 H8-B群	除染作業前
④	J1-B群	タンク内線量が高く入域困難

スミア測定対象タンク群

- H8-B群にてスミア測定を実施したところ、H8-B4タンクの側板部にて「0.85 Bq/cm²」（Raゾーン設定となる基準値は0.4Bq/cm²）のアルファ核種を確認したが、ベント管出口及び天板部では、いずれも検出下限値以下であった。当該タンクについて、ベント管へのHEPAフィルタ取付・ダスト定期測定を実施済。
- 作業については、必要なアルファ核種対策（隔離措置等）を徹底した上で、慎重に作業を進める。
- 引き続きその他タンクについても引き続きスミア測定による調査を行う。

3. スケジュール

<水質分析>

- 分析項目：全α, 全β, Cs-134, Cs-137, Sr-90

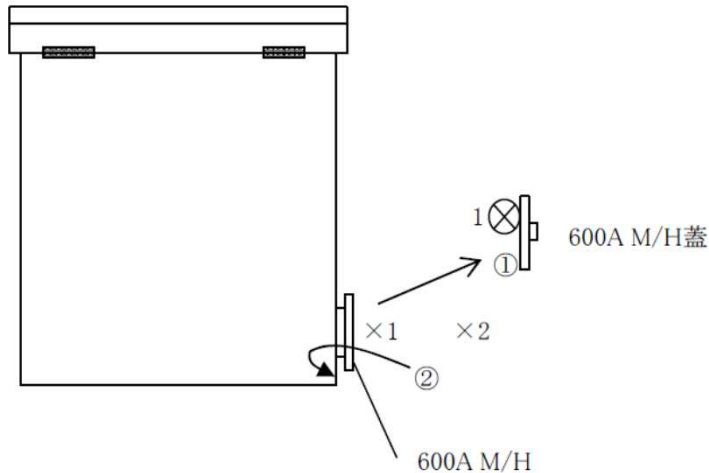
<スミア測定>

- 分析項目：線量当量率 (mSv/h) $[\gamma \cdot \beta + \gamma]$
 表面汚染密度 (Bq/cm²) $[a \cdot \beta]$

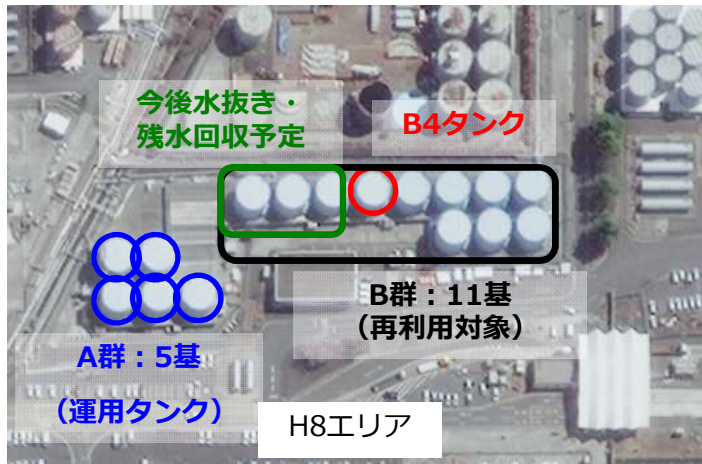
対象		項目	9月	10月	11月	12月
水質分析	STEP 1	採水		実施予定		
		分析		実施予定		
	STEP 2	採水			実施予定	
		分析				実施予定
スミア測定	スミア測定 分析	実施中	□ □ □ □			

<参考> H8-B4タンクスミア測定結果について

×: 雰囲気線量測定ポイント ⊗: 表面線量測定ポイント (No): スミア採取ポイント



H8南-B4タンク
600A M/H開放時



線量当量率測定結果 単位:mSv/h

測定ポイント	測定値(γ)	測定値(β(γ))	測定対象
×1	0.007	0.80	600A M/H前雰囲気
×2	0.005	0.20	作業位置雰囲気
⊗1	0.007	5.0	M/H蓋内面表面

表面汚染密度測定結果

測定線種	α線		測定対象
	Gross (min ⁻¹)	NET (Bq/cm ²)	
採取ポイント ①	0	LTD	600A M/H蓋内面
②	40	8.48E-01	タンク内側板表面

測定器: F1-α-052

スミア換算定数: 2.12E-02 Bq/cm²・min⁻¹

B G : 0 cpm

表面汚染密度測定結果

測定線種	β線		測定対象
	Gross (cpm)	NET (Bq/cm ²)	
採取ポイント ①	11,000	3.17E+01	600A M/H蓋内面
①	75,000	2.18E+02	タンク内側板表面

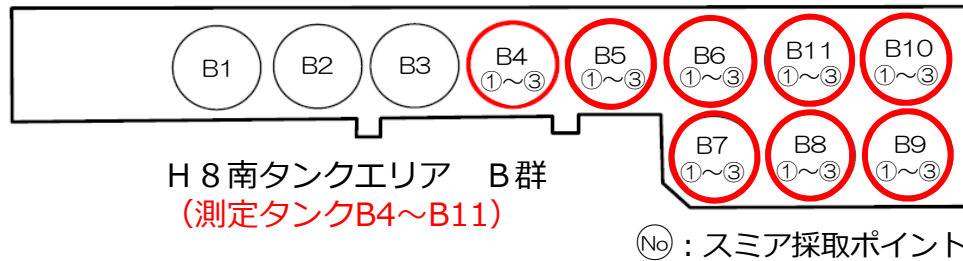
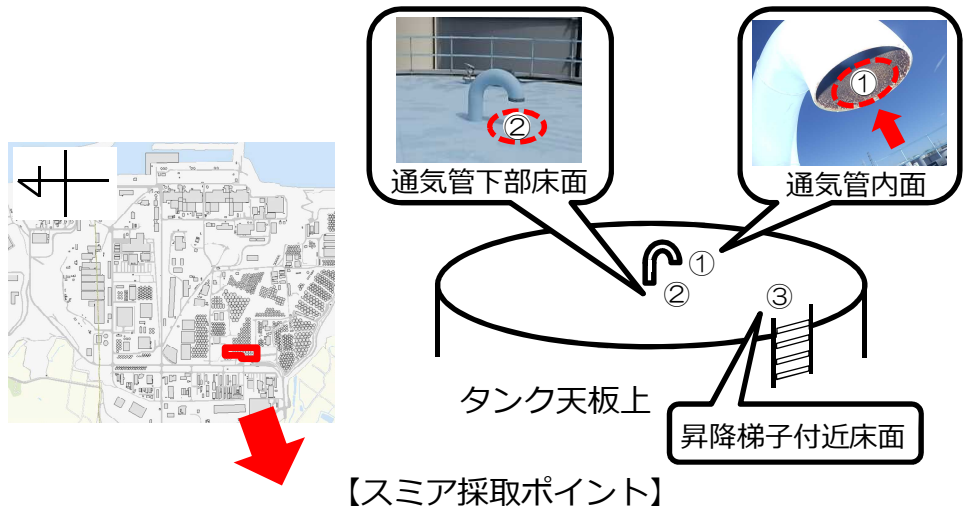
測定器: F1-GMAD-266

スミア換算定数: 2.91E-03 Bq/cm²・min⁻¹

B G : 100 cpm

＜参考＞ H8-B群タンクスミア測定結果について

- H8-B群（B4～B11）タンク上部の通気管内面(①)、通気管下部床面(②)及び昇降梯子付近床面(③)の表面汚染密度測定を実施し、**全ベータ・全アルファについて検出限界値未満**を確認



【表面汚染密度測定結果】

採取日：2021年9月22,24日

測定対象	採取箇所	全ベータ 表面汚染密度 [Bq/cm ²]	全アルファ 表面汚染密度 [Bq/cm ²]
B4タンク	①	< 9.4E-01	< 1.5E-01
	②	< 9.4E-01	< 1.5E-01
	③	< 9.4E-01	< 1.5E-01
B5タンク	①	< 9.4E-01	< 1.5E-01
	②	< 9.4E-01	< 1.5E-01
	③	< 9.4E-01	< 1.5E-01
B6タンク	①	< 9.4E-01	< 1.5E-01
	②	< 9.4E-01	< 1.5E-01
	③	< 9.4E-01	< 1.5E-01
B7タンク	①	< 9.4E-01	< 1.5E-01
	②	< 9.4E-01	< 1.5E-01
	③	< 9.4E-01	< 1.5E-01
B8タンク	①	< 9.4E-01	< 1.5E-01
	②	< 9.4E-01	< 1.5E-01
	③	< 9.4E-01	< 1.5E-01
B9タンク	①	< 9.4E-01	< 1.5E-01
	②	< 9.4E-01	< 1.5E-01
	③	< 9.4E-01	< 1.5E-01
B10タンク	①	< 9.4E-01	< 1.5E-01
	②	< 9.4E-01	< 1.5E-01
	③	< 9.4E-01	< 1.5E-01
B11タンク	①	< 9.4E-01	< 1.5E-01
	②	< 9.4E-01	< 1.5E-01
	③	< 9.4E-01	< 1.5E-01

【参考資料】

【参考】 EエリアD1, D2タンク内の残水の分析結果

- EエリアD1タンクの残水を分析した結果と特徴は以下の通りであり、**a核種は主にタンク内のスラッジ成分に含まれている**と考えられる。
 - 残水を0.45μmでろ過した結果、**98.6%**のa核種を除去。
 - 残水の泥水と上澄み水を別々に採取して、全a濃度を比較すると、上澄み水は泥水と比べ**99.7%**濃度低下する。

内容	採取日	Cs-134	Cs-137	Sr-90	全β	全α	H-3
D1残水	1/28	—	—	—	—	3.4E+03	—
D1残水 (ろ過(0.45μm)後)	1/28	—	—	—	—	4.7E+01	—
D1残水泥水	7/21	5.777E+04	1.322E+06	2.822E+08	4.727E+08	5.283E+03	8.766E+05
D1残水の上澄み	7/21	<7.666E+0 ₂	2.824E+03	9.135E+07	1.205E+08	1.737E+01	—
【参考】 D2残水	8/5	<2.871E+0 ₃	3.568E+03	8.034E+07	1.454E+08	1.198E+01	—

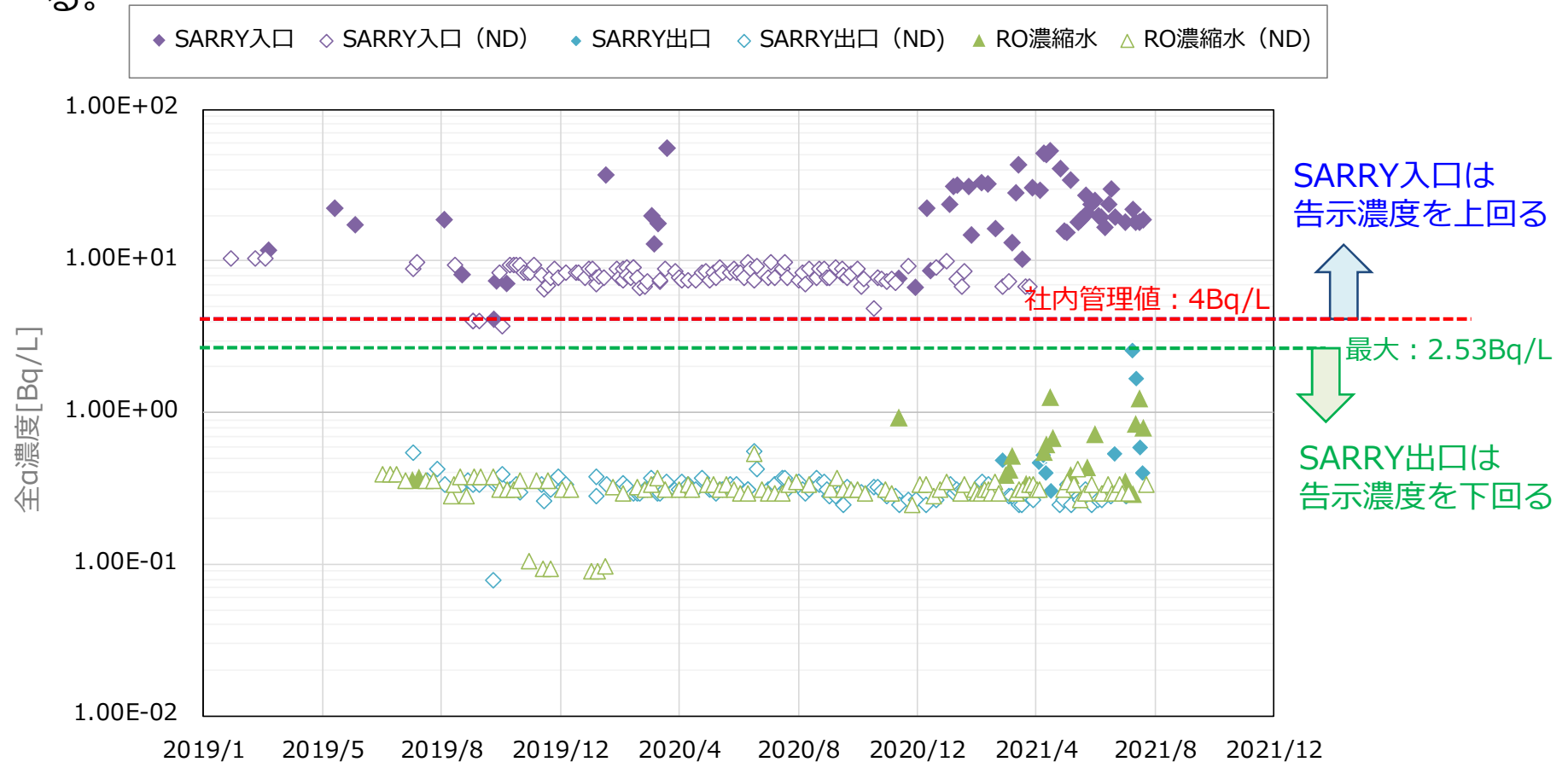
D1タンク内部状況



タンク内部写真 (水位約400mm)

【参考】 SARRY入口/出口, RO濃縮水の全α濃度

- SARRY入口/出口, RO濃縮水のα核種濃度は下図の通り。
→ **2019年7月以降のSARRY出口/RO濃縮水の全α濃度の最大値は2.53Bq/L**
(2021年8月3日のSARRY2出口水) であり、社内管理値を下回っている。
- このため、下流のSr処理水タンク内の貯留水も社内管理値以下と考えていたが、フランジタンクの残水の受け入れ等による残渣の集積により、全α濃度が上昇したものと推定される。



【参考】ALPS入口濃度の全a濃度

- 2020年4月以降のALPS入口の全a濃度は、RO濃縮水/Sr処理水タンクの残水受け入れにより、告示濃度以下で全a濃度が変動していた。
- Eエリアの残水を運用タンク（H8-A）に移送以降、ALPS入口は告示濃度を超える濃度となり、移送停止後に時間遅れで上昇が落ち着き、最近では濃度が低下している。
- なお、ALPS出口では全て検出限界値未満であることを確認している。

